

3 環境に関する市民・事業者意識調査 集計結果

調査の概要

■ 調査期間

平成22年6月1日～6月30日

■ 調査方法

- ・本調査は無記名式のアンケート調査により実施しました
- ・アンケート調査票は郵送により送付／回収しました
- ・アンケートの回答方式は基本的に選択式で、一部に記述式を含みます

■ アンケート送付先の抽出方法

市民意識調査 : 年代別及び住居地域別（下記参照）の層化抽出

事業者意識調査 : 業種等を考慮した抽出

居住地域区分

地 区	地 域 区 分
千葉ニュータウン 中央地区	大塚 1～3 丁目、牧の木戸 1 丁目、木刈 1～6 丁目、小倉台 1～4 丁目、内野 1～3 丁目、 武西学園台 1～2 丁目、原山 1～3 丁目、中央北 3 丁目、中央南 1～2 丁目、 高花 1～6 丁目、戸神台 1 丁目
千葉ニュータウン 印西牧の原地区	西の原 1～4 丁目、原 2～4 丁目
木下・大森地区	木下、竹袋、別所、宗甫、木下東 1～4 丁目、平岡、大森、鹿黒、亀成、発作、相嶋、浅間前、 木下南 1～2 丁目
小林地区	小林、小林浅間 1～3 丁目、小林大門下 1～3 丁目、小林北 1～6 丁目
永治地区	浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉
船穂地区	武西、戸神、船尾、松崎、結縁寺、多々羅田
草深地区	草深、泉

■ アンケート回収率

	市民	事業者
発送数	2,000	200
回収数	664	59
回収率	35.9%	31.5%

■ アンケート集計方法

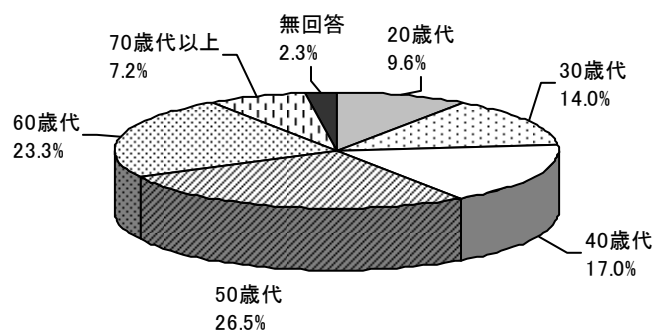
- ・択一式の設問では、各選択肢の選択割合（各選択肢の選択数 ÷ 回答数）及び無回答の割合（無回答数 ÷ 回答数）を集計しました
- ・複数選択式の設問では、各選択肢の選択数及び無回答の数を集計しました
なお、複数選択式の設問では、回答数と回答者数は一致しません
- ・本書では回答割合を百分率で小数第 1 位まで表示（小数第 2 位を四捨五入）しているため、各選択肢の合計が 100%にならない場合があります

市民意識調査の結果

1 回答者の属性

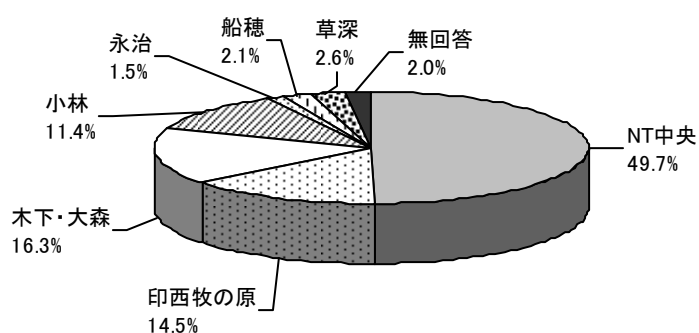
問1-1 あなたの年齢は何歳ですか。（1つ選択／6選択肢）

回答数 649



問1-2 お住まいの地区はどこですか。（1つ選択／7選択肢）

回答者数 651



アンケートは平成 21 年度を調査対象としているため、旧印西市域において年代別及び住居地域別の層化抽出により送付先を決定しています。そのため、回答者の年齢・住所分布は旧印西市の人口分布に比例した結果となっています。

回収率は 35.9%で、昨年（36.3%）をわずかに下回りました。

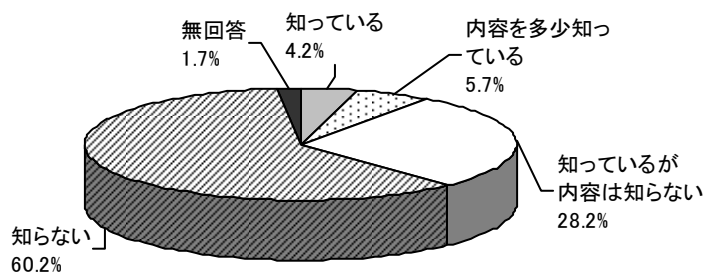
年齢層別の回収数（問 1-1）は、40 歳台以上の割合が多い点でこれまでの調査結果と共通しています。

居住地域別の回収数（問 1-2）も、これまでの調査と同様、千葉ニュータウン地区の回収数が全体の半分以上を占めていました。

2 印西市環境基本計画について

問2-1 あなたは、「印西市環境基本計画」をご存知ですか。（1つ選択／4選択肢）

回答数 653



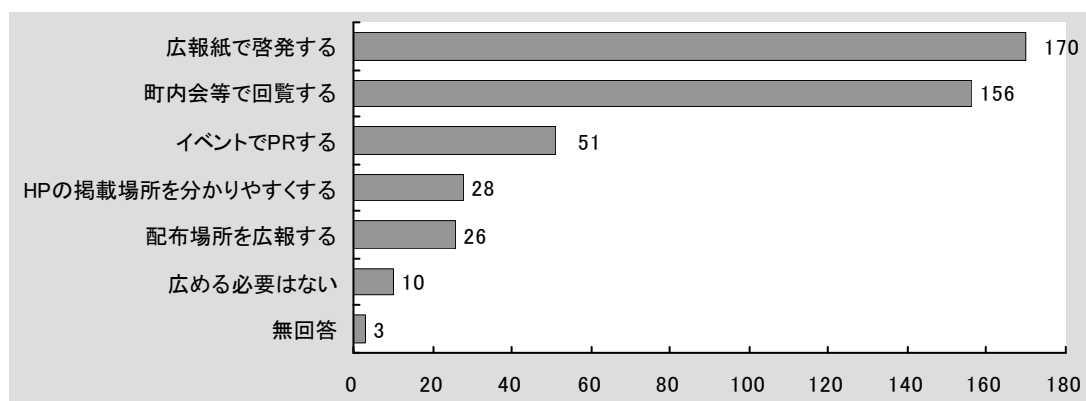
問2-2 問2-1で「知らない」と答えた方(400人)に質問します。
計画を広めるためにどのような取組みをしたらよいと思いますか。（1つ選択／5選択肢）

回答数 441（435人）

※ 問2-1で「知らない」以外を選択した方の回答を含む

※ 2つ以上選択した方の回答(6件)を含む

※ 問2-1で「知らない」を選択し、問2-2を回答していない場合は無回答(3人)とした

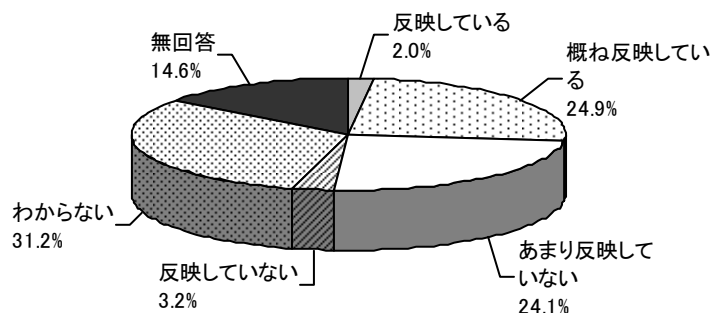


問2-3 印西市環境基本計画をご存知の方(253人)に質問します。
計画は市を取り巻く環境問題を適切に反映していると思いますか。（1つ選択／5選択肢）

回答数 216

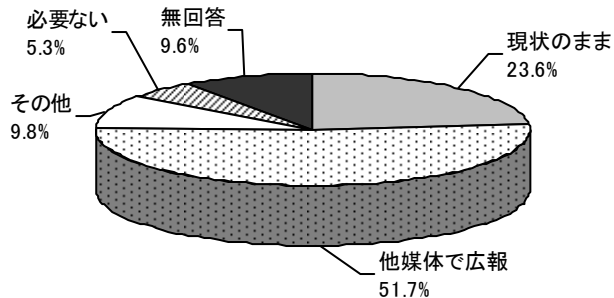
※ 問2-1で「知らない」を選択した方の回答は無効とし、回答数に含まない

※ 問2-1で「知らない」以外を選択し、問2-3を回答していない場合は無回答(37人)とした



問2-4 今後、環境に配慮した行動を啓発していくためには、どのように広報を行っていくことが望ましいと思いますか。（1つ選択／4選択肢）

回答数 600

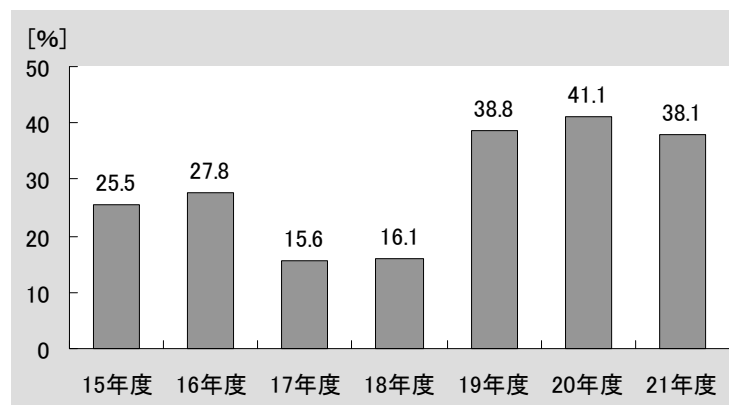


《 その他の主な意見 》

意 見	意見数
駅やスーパーなど、目立つ場所に掲示する	6
折込チラシ ダイレクトメール	2
広報紙に掲載する	9
町内会や自治会で回覧する	10
市のホームページで広報する	6
イベント等でPRする	10
その他	・PR キャラクターを作る ・学校を中心に広報する ・配布場所を増やす など

環境基本計画の認知状況（問 2-1）は、「計画のことは知っている」、「計画の内容を多少知っている」、「計画は知っているが、内容はあまり知らない」の合計が38.1%となり、昨年（41.1%）を下回りました。PRの方法を検討し、啓発を図っていく必要があります。

《参考資料 ー環境基本計画認知状況の推移ー》



これまでに実施したアンケート調査で「環境基本計画を知っている」と答えた人の割合を示します。
（平成 19～21 年度は「計画の内容を多少知っている」及び「計画は知っているが、内容はあまり知らない」の回答を含む）

出典）平成 15～21 年度環境に関する市民意識調査

計画の周知方法（問 2-2）については、広報紙や町内会・自治会の回覧など、各家庭まで届けられる媒体による方法が多く選ばれました。

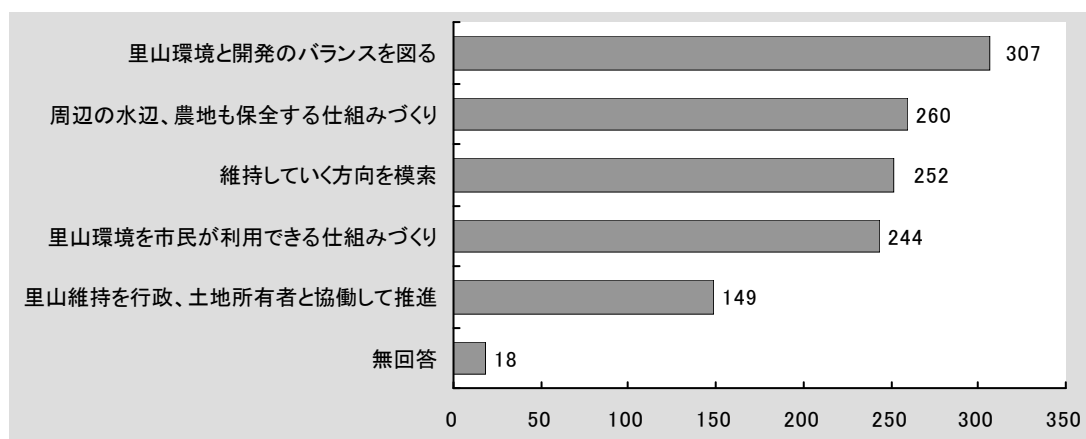
改訂版環境基本計画における環境問題の反映状況（問 2-3）については、「あまり反映していない」と「反映していない」の合計が27.3%で、「反映している」と「概ね反映している」の合計（26.9%）を上回っていた。現在の環境基本計画（改訂版）は、平成 19 年度に見直されたものですが、平成 21 年度は印旛村及び本埜村が合併するなど印西市にとって大きな変化があったため、現状と計画の間に乖離が感じられているものと考えられます。

3 重点プロジェクト(重点的に実施する取組み)について

問3-1 市内に残る里山の保全と活用を進めていくために、あなたはどのようにしたらよいと思いますか。(2つまで選択/5選択肢)

回答数 1,212 (646人)

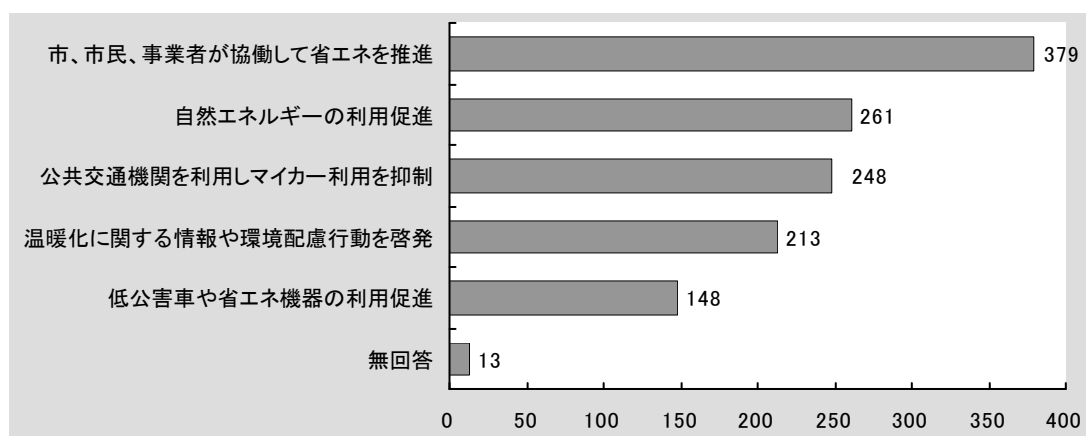
※ 3つ以上選択した方の回答(4件)を含む



里山を保全・活用するための方策としては、回答者の半数近くが「まちづくりを進める上で、里山環境と開発のバランスを図る」を選択しており、宅地や商業地、道路などの開発により、里山環境に必要以上に失われることが無いようにバランスを取っていくことが求められています。また、「樹林地だけでなく、周辺の水辺や農地も保全する仕組みづくり」や「里山を地域の貴重な財産として維持していく方向を模索」「里山環境を多くの市民が活用できる仕組みづくり」などの施策も多く選択されており、これらを複合的に推進していく必要があると言えます。

問3-2 地球温暖化を防止するために、あなたはどのような取組みを進めていくことがよいと思いますか。(2つまで選択/5選択肢)

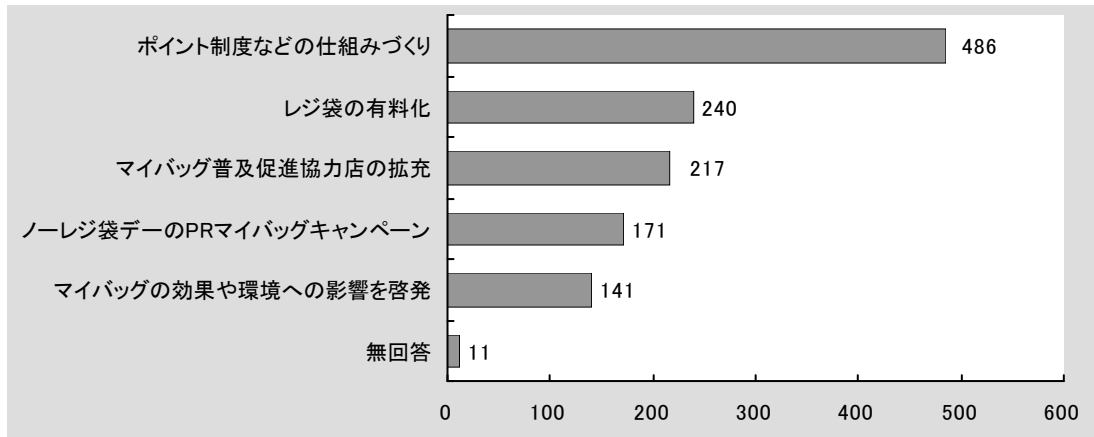
回答数 1,249 (651人)



地球温暖化防止対策としては、回答者の半数以上が「市・市民・事業者が一体となって省資源・省エネルギーを進める」を選択しており、地球規模の環境問題に対して、各主体が協働して対策を推進していく必要性が認識されています。

問3-3 マイバッグの利用を促進するために、あなたはどのようにしたらよいと思いますか。
(2つまで選択／5選択肢)

回答数 1,255 (653人)



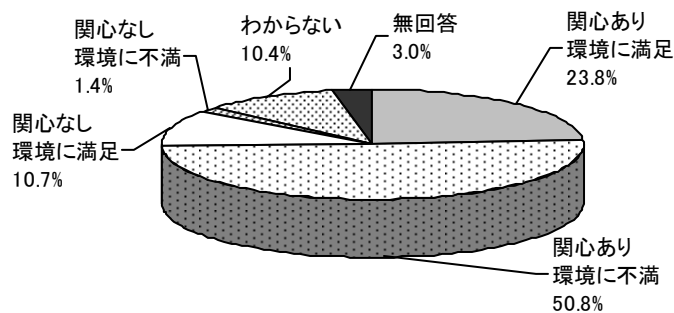
マイバッグの利用促進に向けては、「ポイント制度など市民・事業者双方にメリットのある仕組みづくり」が強く支持され、各主体が積極的に取り組みやすい仕組みづくりが求められていることが分かります。

4 環境問題に対する認識について

問4-1 あなたは環境問題に関心がありますか。
また、市内の環境についてどのように感じていますか。(1つ選択／5選択肢)

回答数 644

※ 2つ以上選択した方の回答は無効とし、回答数に含まない

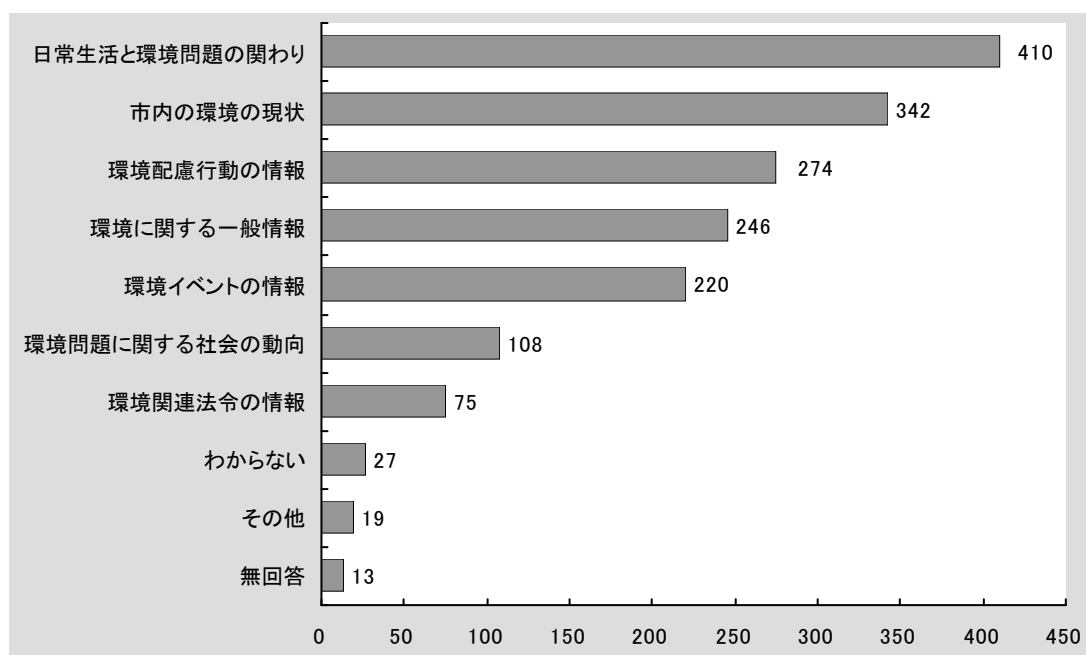


「環境問題に関心を持っている」と答えた人の割合は74.6%と非常に高く、環境意識の高さが示唆されました。

これに対して、市内の環境に対する満足度では、「満足していない」(52.2%)が「満足している」(34.5%)を大きく上回る結果となりました。

問4-2 あなたが環境についてもっと関心を深めるためには、どのような情報が必要と考えますか。
(3つまで選択／9選択肢)

回答数 1,721 (651人)



《 その他の主な意見 》

- ・地域毎の環境汚染状況
- ・他の自治体や市民などによる取組みの事例
- ・里山の保全に関する情報
- ・印西市の環境問題に関する最新情報
- ・今のままだと今後どのような環境変化を招いてしまうか
- ・道徳教育
- ・土地利用計画の現状

など

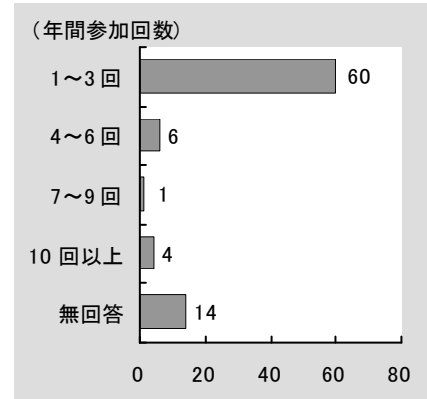
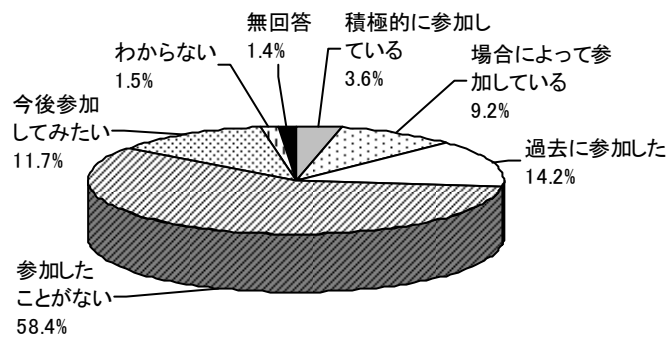
「日常生活と環境問題の関わりがわかる情報」や「市内の自然環境や都市環境などの現状に関する情報」、「環境に配慮した行動に関する情報」などが多くの人に選ばれており、毎日の生活の中で環境保全に関わっていきたいという市民の意識が反映されているものと言えます。

市としては、環境白書や広報などを通じて市内の環境に関する様々な情報の提供を積極的に行うとともに、環境行動指針（市民編）などを通じて、具体的な環境行動について普及啓発していく必要があります。

環境関連イベントへの参加状況（次頁 問 4-3）は、「参加したことがない」及び「今後参加してみたい」と答えた人の割合が合計で 70.1%を占めており、参加・協働意識の向上が課題と言えます。今後取組んでみたい活動（次頁 問 4-4）として、多くの人が選択した「自然観察会、施設見学」などのイベントを中心に普及・啓発を図っていく必要があります。

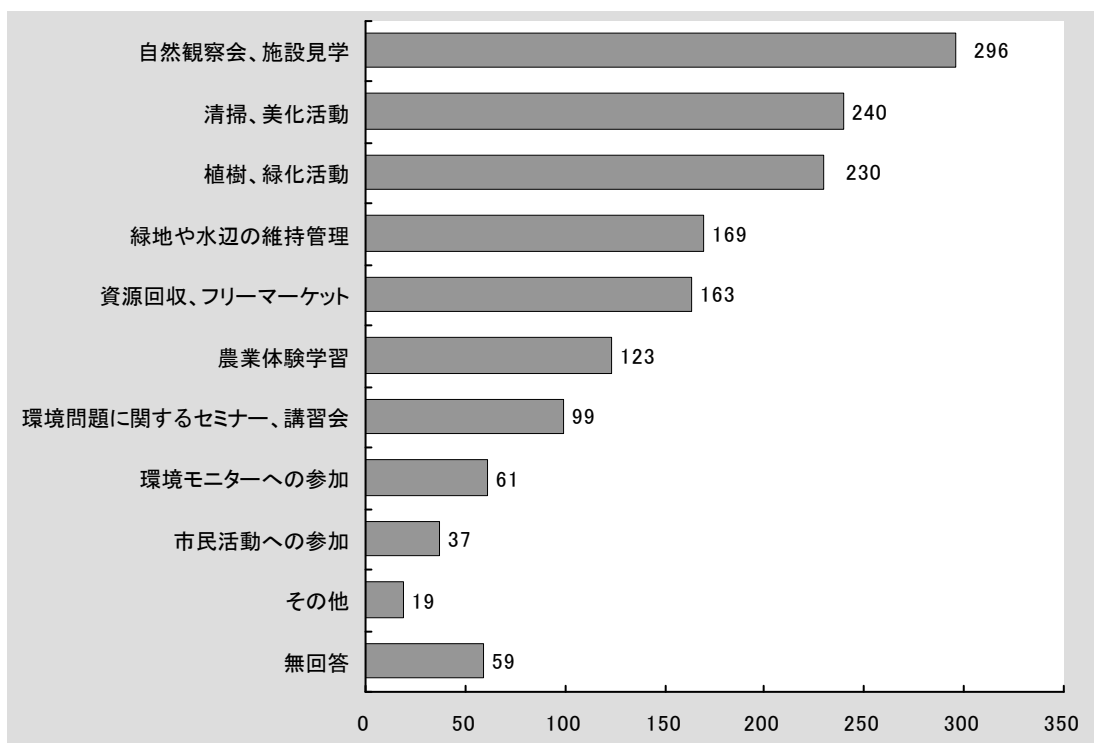
問4-3 あなたは、これまでに印西市の環境保全に関する講演やイベントなどに参加したことはありますか。（1つ選択／6選択肢）
また、「積極的に参加している」もしくは「場合によって参加している」と答えた方（85人）は参加回数をお答え下さい。

回答数 655



問4-4 あなたは、印西市の環境保全に関するイベントや活動などで、今後取り組みたいものはありますか。（3つまで選択／10選択肢）

回答数 1,437（605人）



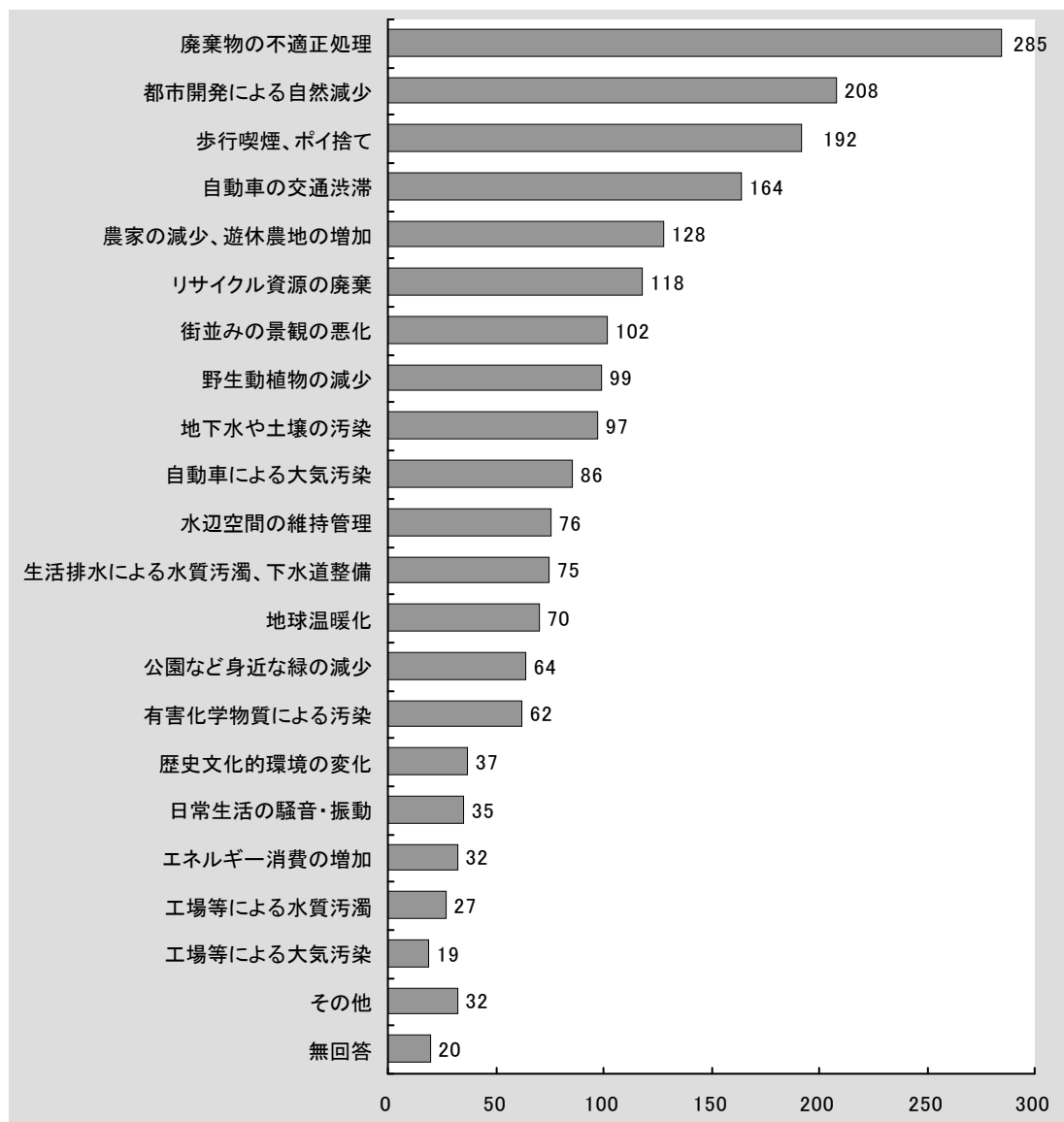
《 その他の主な意見 》

- ・市の施策に関するモニタリング、評価、情報公開など
- ・こどもが考え行動できる環境勉強会・親子参加
- ・成田線の本数を増やし、電車の利用を増やすための運動 など

5 市内の環境について

問5-1 現在、あなたが感じている市が早急に取り組を進めるべき環境課題はなんですか。
(複数選択／21選択肢)

回答数 2,008 (644人)



《 その他の主な意見 》

意見の概要		意見数
道路整備(街灯の設置、街路樹・植込みの管理など)		4
マイカーの利用を抑制するために公共交通網の増便・値下げ		4
宅地や道路開発による自然環境の減少		3
野焼きの規制		3
その他	・駅周辺や幹線道路のポイ捨て対策	・禁煙への取り組み ・路上における違法駐車対策 ・川や池の汚れ ・犬のふんの放置 など
	・貴重な生物の保護	
	・都市開発による景観悪化	
	・市職員の意識改革	
	・ごみ処理の方法(燃やせるものは全て燃やすべき)	

市が早急に取り組むべき環境問題では、市民のみなさんが不満に思っている環境課題が抽出されます。廃棄物の不法投棄やポイ捨てに関する問題は、過去のアンケートでも常に重要課題として取り上げられており、より一層の対策強化が求められています。

《 参考資料 ― 早急に取り組むべき環境問題の推移 ― 》

順位	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
1	不法投棄・ ポイ捨て (45.4%)	不法投棄・ ポイ捨て (49.9%)	不法投棄・ ポイ捨て (44.3%)	不法投棄など 廃棄物問題 (40.8%)	不法投棄など 廃棄物問題 (38.3%)	不法投棄など 廃棄物問題 (44.3%)
2	里山の 保全・活用 (31.0%)	里山の 保全・活用 (30.6%)	里山の 保全・活用 (32.3%)	歩行喫煙・ ポイ捨て (31.2%)	歩行喫煙・ ポイ捨て (31.6%)	都市開発による 自然の減少 (32.3%)
3	河川水質の 浄化 (23.5%)	河川水質の 浄化 (27.1%)	河川水質の 浄化 (22.2%)	都市開発による 自然の減少 (29.4%)	都市開発による 自然の減少 (30.8%)	歩行喫煙・ ポイ捨て (29.8%)
4	大気汚染 対策 (21.9%)	ごみ分別方法 の情報提供 (16.9%)	大気汚染 対策 (20.2%)	自動車の 交通渋滞 (28.3%)	自動車の 交通渋滞 (26.7%)	自動車の 交通渋滞 (25.5%)

※ 括弧内は回答者数に占める各選択肢を選んだ人数の割合

出典)平成 15～21 年度 環境に関する市民意識調査

問5-2 印西市内であなたが一番大切だと思う場所、将来に残したい場所などがありますか。
(場所と理由を記述式にて回答)

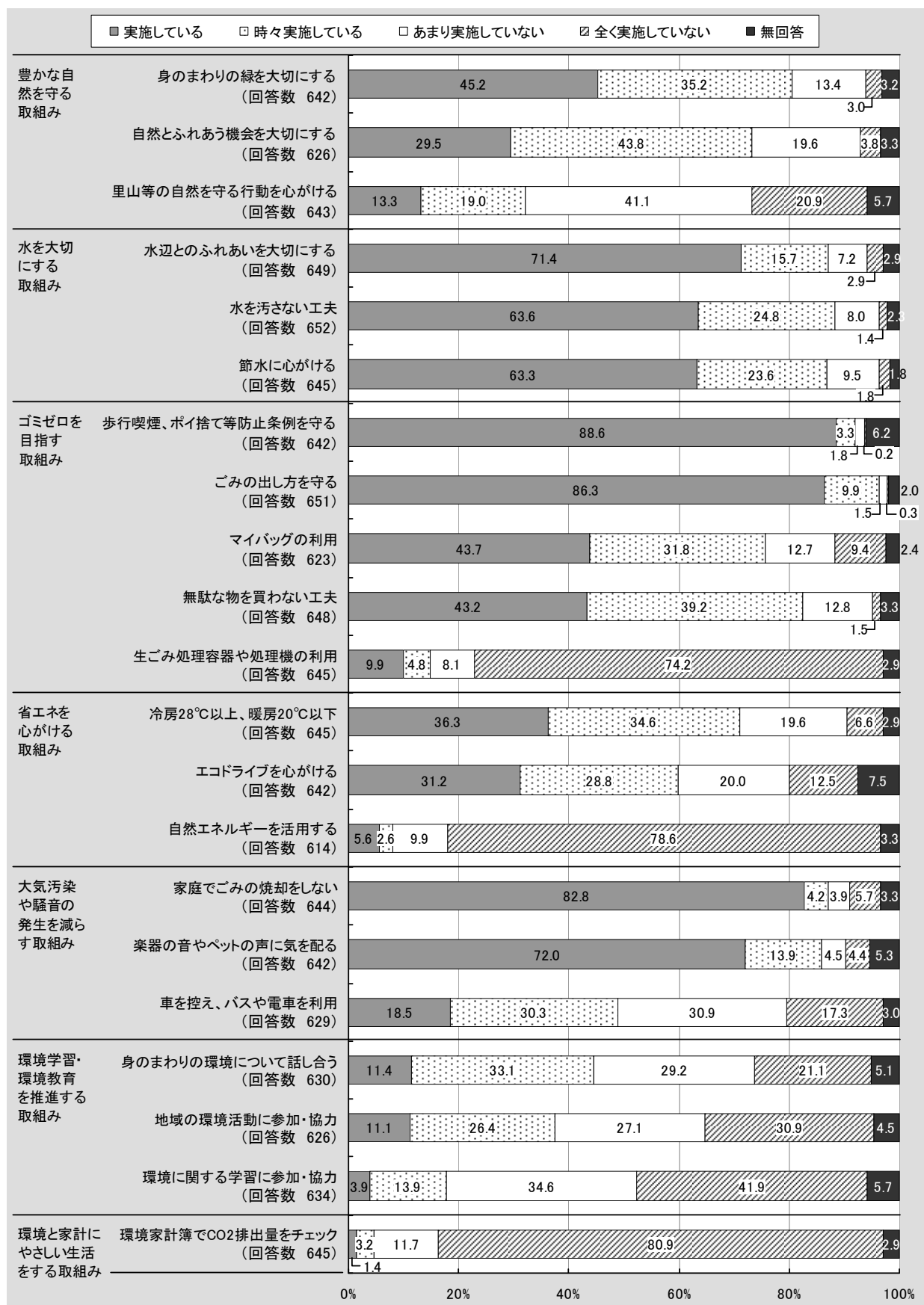
回答者数 218人

分 類	意見数	回答が多かった場所 (括弧内は意見数)
自然環境 里山環境	87	結縁寺周辺(28)、草深(17)、小林(4)、別所(3)、木刈(3) など ※具体的な地名を出さず、雑木林や谷津、水田、田畑など、市内全般の里 山的環境を挙げる回答が多い
公園	37	北総花の丘公園(16)、草深公園(3)、松崎公園(2)、万葉公園(2) 松山下公園(2)、西の原公園(2) など
水辺	20	利根川(4)、亀成川(4)、印旛沼(3)、戸神調整池(1)、弁天川(1) など
歴史・文化	20	木下貝塚(7)、阿夫利神社(1)、鳥見神社(1)、戸神宗像神社(1)、長楽寺 (1)、頼政の首塚・馬塚(1)、将門の井戸(1)、光堂(1) など
田園風景	18	草深(5)、ニュータウン周辺(1)、師戸川周辺(1)、鳥見神社周辺(1) など
花や緑の景観	16	小林牧場の桜並木(6)、牧の原公園コスモス畑(5)、吉高の大桜(2) など
都市の景観	6	千葉ニュータウン駅周辺(3)、原地区(2)、木下駅周辺(1) など
その他	20	印旛高校跡地(8)、駅や公共施設(2)、県道印西佐倉線の坂道(1) 永治プラザ裏の眺め(1)、市立図書館(1)、市内全部 など

里山の自然環境を大切にしたいという意見が多く、良好な自然環境の維持が望まれています。
場所別では、結縁寺地区や草深地区の里山環境の他、北総花の丘公園などが多くの市民に親しま
れています。

6 環境行動への取組みについて

問6 環境の行動について、あなたは普段以下のようなことを行っていますか。
(各1つ選択／5選択肢)



環境行動への取り組み状況を見ると、「ゴミゼロを目指す取り組み」（歩行喫煙、ポイ捨て防止条例を守る、ごみの分け方や出し方を守る）や「大気汚染や騒音の発生を減らす取り組み」（家庭でごみの焼却をしない、楽器の音やペットの声に気を配る）、「水を大切にする取り組み」（調理くずを流さないなど水を汚さない工夫をする、水を流したままにせず節水に心がける）は 6 割以上の方が「実施している」と答えており、日常生活の中で環境を意識した行動に取り組まれていることが分かります。

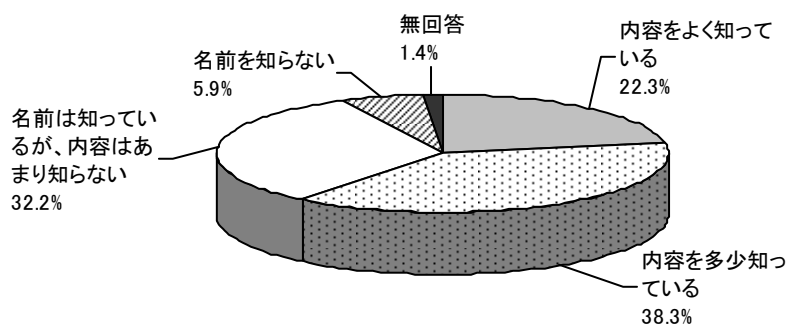
また、「水辺とのふれあいを大切にする」も 7 割以上の方が「実施している」と答えており、印旛沼や手賀沼、利根川をはじめとする多くの河川や水田など、豊かな水辺環境に恵まれた印西市ならではの取り組み状況と言えます。

一方で、「環境学習・環境教育を推進する取り組み」や「環境家計簿をつけて、環境にも家計にもやさしい生活をする取り組み」の実施割合は低く、引き続き環境活動への参加促進を図っていく必要があります。

7 里山環境の保全について

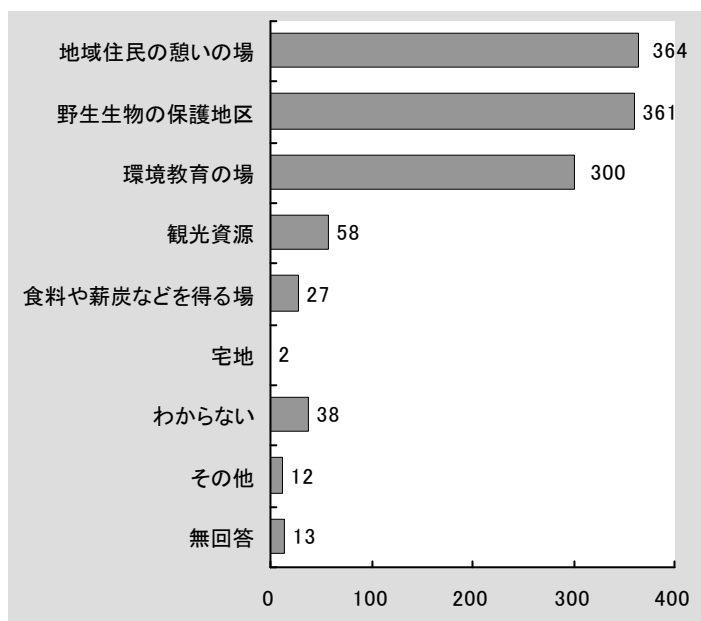
問7-1 あなたは「里山」という環境を知っていますか。（1つ選択／4選択肢）

回答数 655



問7-2 あなたは、今後印西市の里山をどのような場として利用していくのが良いと思いますか。（2つまで選択／8選択肢）

回答数 1,162（651人）



《 その他の主な意見 》

意見の概要	意見数
人の手を加えず、そのままにしておく	7
現状のまま、特別な扱いをしない	3
利用はその地区の人に任せる	1

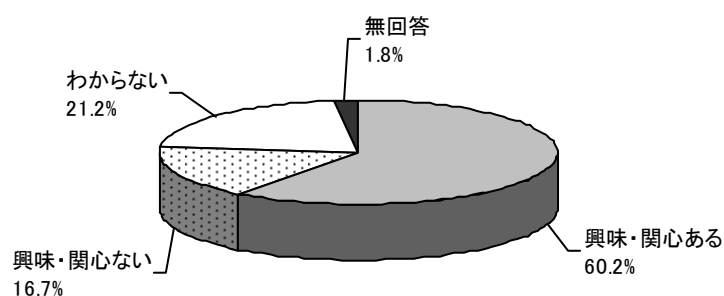
里山環境の認知状況（問7-1）では、9割以上の人が少なくとも「名前は知っている」と答えました。結縁寺地区の谷津が、朝日新聞社と森林文化協会が主催する「にほんの里 100 選」に選定されたことなどを受け、里山環境に多くの関心が集まっている結果と考えられます。

しかし、里山が自然のままに放置された森林とは異なり、薪炭材の採取や山菜採り、定期的な下草刈りなど、農村部に住む人々との長い関わり合いを経て成立してきた貴重な環境であることまで理解している人は多くないと思われます。

今後は、「市民の憩いの場」や「野生生物の保護地区」、「環境教育の場」などとして有効活用していくとともに、貴重な環境が失われることの無いように保全を図っていく必要があります。

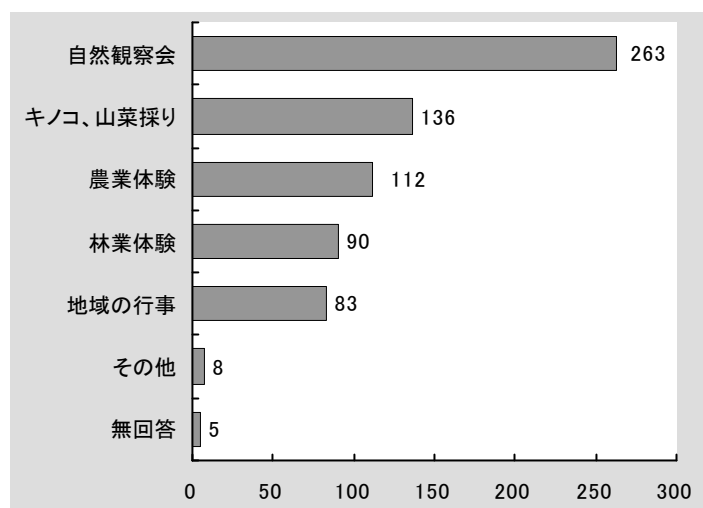
問7-3 あなたは、里山で行われる活動に興味・関心がありますか。（1つ選択／3選択肢）

回答数 652



問7-4 問7-3で「興味・関心がある」と答えた方(400人)に質問します。
興味・関心があるのはどのような活動ですか。（2つまで選択／6選択肢）

回答数 652



《 その他の主な意見 》

- ・里山ウォーキング
- ・ネイチャークラフト
- ・風景のスケッチや写真撮影会及びその展覧会など
- ・動物保護活動 など

里山で行われる活動について（問7-3）は、6割以上の方が興味・関心を持っており、特に自然観察会に参加してみたいと感じる人が多い結果（問7-4）となりました。

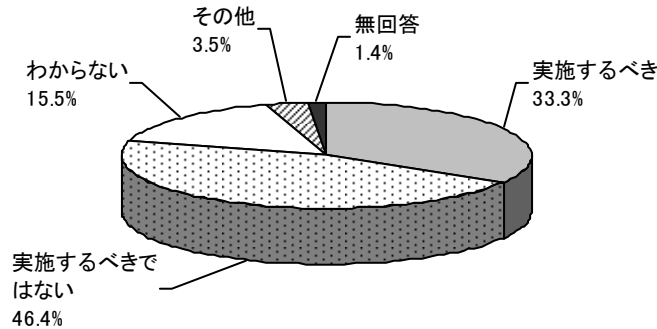
しかし、これらのイベントへの参加状況は決して多くなく、興味はあるが参加しにくい状況があると考えられます。（問4-3 参照）

今後は、市民のみなさんが参加しやすいようなイベントを検討していくとともに、告知方法等を工夫し、参加の促進と環境意識の向上に努めていく必要があります。

8 粗大ごみ回収の有料化について

問8-1 あなたは、粗大ごみの有料化についてどのように考えますか。（1つ選択／4選択肢）

回答数 655



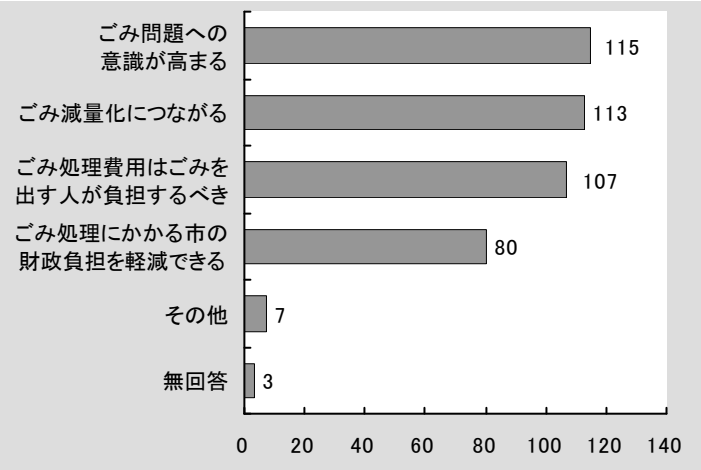
《 その他の主な意見 》

意見の概要	意見数
税収のある現状ではまだ早すぎる	3
有料化には賛成できないが、仕方ないと思える	7
不法投棄の増加が心配である	7
条件付で実施すべき ・税金の有効活用 ・料金設定の検討 ・不法投棄対策 ・有料化時期の検討 など	15
その他 ・他に改善すべきことがある ・具体的な有料化方法を提示してほしい など	

問8-2 問8-1で「実施すべき」と答えた方(221人)に伺います。
主な理由をお答え下さい。（2つまで選択／5選択肢）

回答数 422（236人）

- ※ 問8-1で「実施すべき」以外を選択した方の回答を含む
※ 3つ以上選択した方の回答を含む
※ 問8-1で「実施すべき」を選択し、問8-2を回答していない場合は無回答(3人)とした



《 その他の主な意見 》

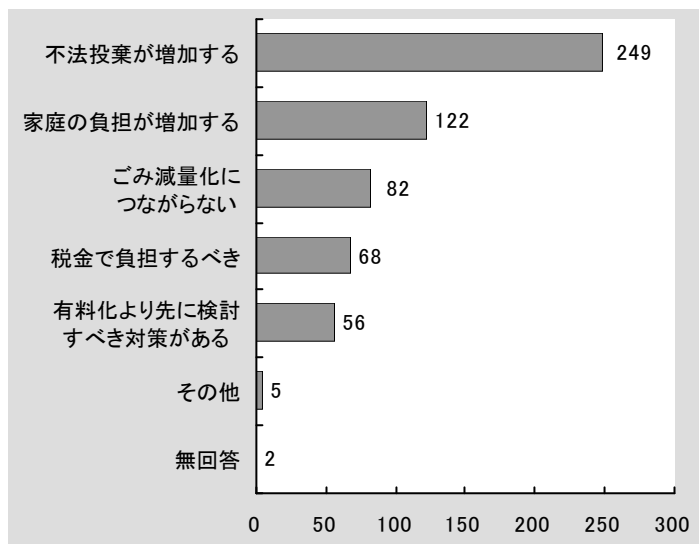
- ・リサイクルや再生できる資源を活かすため
- ・リサイクル可能な粗大ゴミを廃棄するのは「もったいない」から
- ・都内では有料だったから
- ・市税の有効活用 など

問8-3 問8-1で「実施するべきではない」と答えた方(308人)に伺います。
主な理由をお答え下さい。(2つまで選択／6選択肢)

回答数 582 (341人)

※ 問8-1で「実施するべきではない」以外を選択した方の回答を含む

※ 問8-1で「実施するべきではない」を選択し、問8-3を回答していない場合は無回答(2人)とした



《 その他の主な意見 》

- ・業務が繁雑になる
- ・再利用可能な粗大ごみを修理して安価で販売する(市が管理して実施)
- ・余分なものは捨てていない
- ・十分税金を納めている
- ・現状では税による処理が公平である など

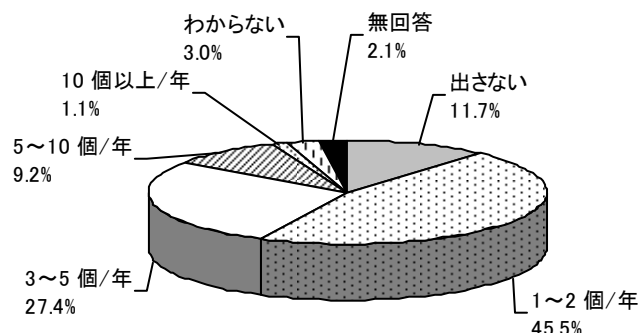
粗大ごみ回収の有料化について(問 8-1)は、「実施するべきではない」と答えた人が全体の半数近くに及び、「実施するべき」と答えた人を上回りました。

ただし、「ごみ問題への意識が高まる」「ごみの減量化につながる」「ごみ処理費用の財政負担が減少する」など、有料化による効果は認識されて(問 8-2)おり、適切な粗大ごみ回収・処理方法について、継続して検討していく必要があります。

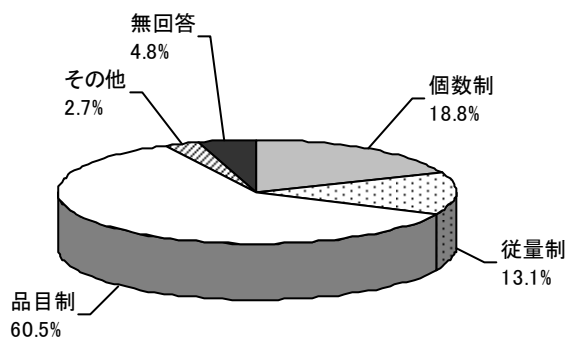
なお、「実施するべきではない」と答えた人の約 8 割は、その理由として「不法投棄が増加する可能性がある」と回答しています(問 8-3)。不法投棄問題は、現状でも市が早急に取り組むべき課題として認識されて(問 5-1)おり、有料化により不法投棄されるごみが増加してしまう事態が懸念されています。粗大ごみの回収・処理方法について検討する際は、有料化による不法投棄の増加など負の影響も合わせて検討し、対策を講じていくことが望まれています。

問8-4 あなたの世帯では、年間でどの程度粗大ごみを出していますか。（1つ選択／6選択肢）

回答数 650

**問8-5** 粗大ごみの回収が有料化された場合、料金設定の方法は何か妥当と思いますか。（1つ選択／4選択肢）

回答数 632



《 その他の主な意見 》

- ・品目と大きさによる設定
- ・品目と仕様年月による設定
- ・素材と大きさによる設定
- ・処理費用に基づく設定
- ・個数や品目、重さに関係無く1回につきいくらと設定
（1回につき何個までかを制限する）
- ・わからない など

1年間に出す粗大ごみの個数（問8-4）は、「1～2 個」と答えた世帯が最も多く、「出さない」と答えた世帯と合わせると全体の半数を超えていました。しかし、年間5 個以上出している世帯も約 10%あり、家族構成や引越しの有無などにより大きく変動するものと考えられます。粗大ごみ有料化を検討する際は、以上の排出状況を考慮し、不公平を感じない料金設定が必要となります。

料金設定の方法について（問8-5）は、「品目制」と答えた人が全体の6割以上と最も多く、「個数制」や「従量制」を大きく上回りました。同じ個数・重量であっても、品目や素材によって処理費用が異なるため、排出者負担の原則に則った料金設定が選ばれていると言えます。

9 自由意見

問9 印西市の環境に関するご意見、ご要望、及び取組みを進めるにあたってのアイディアなどがあればご記入ください。（記述式）

回答数 180人

分類(意見数)		主な意見
自然環境 まちの緑 (43)	都市の緑化 (11)	➤ 屋上緑化などへの補助制度を創設 ➤ 北総線沿いに桜を植林し、成田空港利用者に印西の景観をアピール ➤ 街路樹などの雑草が伸び放題で見苦しい 芝桜などを植栽すれば憩いの場所となり、刈取り経費も節減できる ➤ 公園や緑道などは定期的な草刈が必要 シルバー人材など住民が積極的に関われる地域力を育ててほしい ➤ 印西牧の原駅北口の公園を野田市清水公園の「花ファンタジア」のような施設に整備し、「コスモス」をテーマとした街づくりを行う ➤ 里山だけでなく、ニュータウン地域の緑も今以上に保全してほしい ➤ 西の原公園のハーブは専門家による手入れを行ってほしい ➤ 牧の里の住宅地は、木陰になるような素敵な街路樹に育っていない 北柏のケヤキ街路樹に習って、そういう場をたくさん作ってほしい ➤ 街路樹や公園の樹木を毎年丸裸に切り込むことをやめ、緑を緑として日陰や光合成の促進に努力すること
	緑地の保全 (10)	➤ 自然林、緑化林の確保、遊歩道の整備 ➤ 小中学生にふるさと印西を大切にする気持ちが自然と湧き上がってくるような、自然環境の保全が特に必要 ➤ 竹林が失われつつある ➤ 政策も無駄な支出を避けることを第一に考えれば、今の環境を壊さずにやっていけるのではないかと ➤ 樹木の維持管理の大変さを市民に理解してもらいたい また、市による管理補助や手入れ実施なども検討してほしい ➤ 林地が竹に侵食されているところが多いが、何か対処するのか
	里山環境 (8)	➤ 「里山」を初めて使ったのはケビン・ショート氏、もっとアピールすべき ➤ 自然観察会などではなく、保全協力員として人員を募集し、定期的に清掃をするなどの取り組みを考えてみては ➤ 地主は自分の土地に責任を持ち、整理清掃するべきである ➤ 里山環境保全地域を示す看板を設置すること ➤ 里山保全のために川の草刈りを中止したと聞いたが、住民の安全より虫や鳥の保全を優先したということか
	農業 (5)	➤ 市民農園を作り、広く農業体験の普及を図る ➤ 印西市を農業を中心とした文化都市にしてみたい ➤ 若い人が体験できる活動やインターンシップなどがあれば参加したい ➤ 剪定枝の焼却が禁じられており、このままでは、果樹を植えられなくなり、緑が消えてゆく ➤ 市が遊休農地を借り上げ、希望者や団体(こども会や老人会)に貸し出すとともに、農作業指導や果実の売却斡旋を行う
	野生動物 (3)	➤ 里山に鳥のさえずり機を設けたらどうか ➤ 最近は自然が壊され鳥の鳴き声も聞くことが少なくなってきた
	開発による影響 (3)	➤ 鹿黒地区など、土地開発による自然環境の変化が心配 ➤ 生活が便利になっていくのは嬉しいのですが、自然が減ってきているのが残念(松山下公園の裏でホテルはもう見られませんが)

分類(意見数)		主な意見
交通 (37)	公共交通 (17)	➤ 成田線と北総線間のバスの利便性向上を図るべき ➤ 北総線が高いのも車が減らない原因 ➤ カーシェアリングの普及 ➤ レインボーバスやふれあいバスの本数を増やし、定時運行して欲しい ➤ 成田線の本数を増やし、木下と千葉ニュータウンの間に電車かモノレールを走らせてほしい
	道路整備 (14)	➤ 国道 464 号の渋滞をどうかしてほしい ➤ 小林地区から印西牧の原駅までの道路整備を急いでほしい ➤ 道路整備はきちんとやってほしい(小林牧場付近、鳥見神社付近) ➤ 市役所(大森)と千葉ニュータウン(中央)の幹線道路整備(拡幅) ➤ 幹線道路の整備を行う。その他の道は不便のままで OK ➤ 西の原からジョイフル本田の方へ渡る歩道がケーズデンキとゴルフ 5 の間あたりにもう一本あると助かる ➤ 歩道・自転車道の整備(場所によっては人が歩けない歩道がある) ➤ 木下駅周辺の道路工事後のアスファルト舗装を補修してほしい ➤ 小林地区、小倉台地区、木刈地区などの街灯が少なく危険 ➤ 小林駅の整備を急ぐ ➤ 街路樹周りの枝や草の刈り込み(歩道幅の確保) ➤ ここに必要か? という道路が出来つつあります。税金のムダだし、環境破壊につながるのでは
	その他 (6)	➤ 道路を広くまっすぐにすると便利な反面、暴走族などの危険もある ➤ 休日になると国道 356 号をバイクの集団が走る。警察が何もしないなら市民で協力して何かをしたほうがいい ➤ 住宅地内の路上駐車が多い。警察と連携して取り締まってほしい ➤ 小林地区は交通の便が不便。同じ税金を納めているのに不公平
廃棄物 (31)	有料化について (12)	➤ 印西市は緑が多くてステキですが、ゴミを不法投棄しやすいので、有料化はやめた方がいいと思う ➤ 大型家具を有料化するのは致し方ないが、ゴミ袋に入らないからといって他のすべてのものを有料化するには納得できない ➤ 市内のゴミ量や処理費用を公開して増減を明らかにしてほしい ➤ また、地区ごとに排出量の統計を取り、ゴミ削減に積極的な地区は減免措置を受けられるなど、インセンティブを設けられるとよい ➤ リサイクル業者と協力して費用がかからない回収ができないか ➤ 市の業務の効率化や無駄の見直し結果を市民に知らせなければ納得できない ➤ 不要になったものを他人に譲れる仕組みを市で作ってほしい ➤ 粗大ゴミは無料で集め、リサイクル販売をして利用していくべき ➤ 有料が望ましいが、空き地に捨てる人も出てくると思われる
	ごみ減量 (5)	➤ できる範囲でペーパーレス化を推進するべき ➤ なんでも燃やすのではなく、ゴミの選別に力を入れると良い ➤ 生ゴミ処理機などを使う方がよいと思うが、その結果できたものの利用方法がわからない、もしくは必要がない ➤ フリーマーケットなどの場を多く設けてほしい ➤ マイバックキャンペーンなど、できることから始めてみるのが大切 ➤ こどもたちと一緒に買いものの無駄を省いてリサイクルするようなイベントがあるといい

分類(意見数)		主な意見
廃棄物 (つづき)	リサイクル (5)	➤ 金属など有価物活用のための受入体制を作してほしい ➤ 大型マーケットにリサイクルセンター(カン、ビン、ペットボトルを入れると店のクーポンがもらえるシステム)を導入してほしい ➤ 自治体開催の物々交換やリサイクルセンターの設置
	不法投棄 (4)	➤ 裏道などに大型ゴミが捨てられているのを何とかしてほしい ➤ 不法投棄防止のため、現在回収できないごみも有料で回収 ➤ 里山所有者が明らかに不要と見える用具や機材を放置しているゴミが 1 つあるとたちまちゴミの山になるが、美しい所には捨てにくい心理を利用したい
	ゴミ処理施設 (3)	➤ ゴミ焼却施設の周辺には住宅が多く、大気汚染などから施設の場所として不適切
	その他 (3)	➤ ごみ集積場所のマナーが悪い ➤ きちんとしたゴミ出しが環境をよくしていく第一歩だと思う ➤ 原地区のゴミが増えてゴミ置き場からあふれ出ている ➤ 収集所のエリアを狭めて増設してほしい ➤ ごみの空気輸送で、指定ゴミ袋以外で投入する人を多く見かける
都市環境 まちづくり (29)	都市開発 (15)	➤ 国道 464 号添いの空き地に次々商業施設が建ち、緑が減ってきた ➤ 千葉 NT 中央駅周辺はマンションや住宅が立ち並び、景観が悪化したもう住宅は建てず公園を作してほしい ➤ 開発が進み便利になったが、これ以上は不要 ➤ 逆に印西市に残った資源を損なうマイナス効果の方が多い ➤ 森や緑の野が、赤茶けた土地に化けた土地が広がるのをみるにつけ自然破壊ではないかと思う ➤ 高層マンションなんか印西の環境に合わない ➤ 風の流れや日当たりなどを考慮したマンション建設を考えてほしい ➤ 土地開発などでは事前の住民アンケートなど、住民と行政の思いを確認することが必要 ➤ 伝わっている地名や生息している木々、自然が何十年かけて作ってきた土地の形態を守らなければ温暖な千葉は失われるのではないか ➤ アスファルトが多くて夏暑すぎると感じる
	駅前整備 (6)	➤ 駅前の大きな広告看板は景観を損ねている ➤ 駅前の町並みの悪さや雑草の生え放題をどうにかして ➤ 木下駅前にお店がないので地元の人しか駅を利用していない ➤ 千葉ニュータウン駅前にはゲームセンターとパチンコ屋があるが、なぜ駅前を許可したのか ➤ 北総線駅前の遊休地を民間商業施設にして、明るく安全な環境を整えるべき
	その他 (8)	➤ 年寄りやこどもも安心して生活できる環境(治安・コンパクトな街等)を総合的に考えてほしい ➤ 市街地の都市景観について今から基本方針を定め、100 年後の街道が住民の誇りであり、市の観光資産となるような誘導策が必要 ➤ 千葉 NT 地区の電柱の数は、周囲の景観との違和感を感じる ➤ 上下水道の完備 ➤ 商業施設が点々と離れていて車での移動が必要 ➤ 商業施設や公共の場はできるだけ集中して整備できないものか ➤ 産業地域における安売量販店や大量売スーパーの規制 ➤ 街は老朽化し、公園も整備されていない、小中学校の外見も真っ黒

分類(意見数)		主な意見
環境教育 環境学習 (23)	情報提供 (10)	➢ クリーン活動などに参加したいがどうしたらいいのかわからない。広報紙以外にもポスター掲示や宣伝カーによる予告などがあるとよい ➢ 一般的な情報が多すぎる、地域に根ざした情報が必要 ➢ 駅でポスターやキャンペーンを実施し、色々なイベント案内を行う ➢ 親子で参加できるようなことだと興味が湧きやすくなる ➢ このアンケートが届いて初めて計画のことを知った まずは計画をより多くの人に知ってもらうために、回覧で知らせたり、スーパーやお店と協力して取組みを広めたいと思う ➢ チラシや自治会、マンション、学校(園)などで自然と情報が入ってくる仕組みがほしい ➢ 「県民だより」と「広報印西」の全員配布を希望 ➢ 環境情報冊子をマンガ風にして市立図書館に置いてほしい ➢ ハンカチーフなどの啓発グッズの配布
	イベント (8)	➢ 環境保全のPRを兼ねた大規模なイベントを定着させる ➢ ケビンさんのようなネイチャーガイドをたくさん招いて自然観察・体験を開催したら自分の町に新しい発見が出来るのではないかな ➢ 「里山案内人」が季節の花や山菜などを教えてくれるようなツアーが大人対象であれば参加してみたい ➢ 里山観察会などで、私有地への侵入や畑の作物を盗る、ゴミを持ち帰らない、道いっぱいに広がるなど、マナーを守れてない人が多い 主催者はもっとしっかりと教育願います ➢ 東京キリスト教大学と協力してセミナーなどをできたらと思う ➢ 古い町並みで、ニュータウン住民が参加しやすいイベントが多くあれば、ものを大切にする心がはぐくまれる ➢ 「環境」と「食」を交えたイベントなどがあればいい ➢ 毎月環境デーを定め、個人でも取り組めることを広める
	学校教育 (5)	➢ 学校で自然や環境についてうるさい位に学ばせる。次世代育成とともに、親への啓発にもなる ➢ 高校生や大学生を清掃活動や美化活動に参加させ、意識を高める ➢ 環境ポスターや環境標語、環境アイデアなどの公募コンクール ➢ ふれあいの場を作り、広報や回覧板で呼びかけ、自然を囲みながら印西市の環境について学べたらいい
行政への 要望 (14)	職員の意識向上 (7)	➢ 首長が率先して環境を意識すること ➢ 職員に環境に関する勉強会をし、意識の高揚を図っていただきたい ➢ 環境は自治体が手本を示さなければならない。庁舎内の室温設定から考えるべき ➢ ゴミの有料化を含め、他の市町村に比べて対応が遅すぎる ➢ 市役所の机の上は書類散積し、ダンボールは積み上げ放題 職場内の5Sを徹底してはどうか
	アンケート (6)	➢ 環境問題＝土地利用なのに、この設問がないのはおかしい 過去の行政の結果を示し、問題点や今後の方向を聞くべき ➢ 印西市の環境に対する取組みが前向きに感じられるアンケート内容で意識も高まった ➢ アンケート用紙が大きく厚い、封筒も不必要に大きい ➢ 白書を出す意義、利用価値が不明
	その他 (1)	➢ 市が積極的に取り組んでいる姿を紙面だけでなく、金銭的な補助でアピールすれば、それを利用しようとする人、検討する人も多くなる

分類(意見数)		主な意見
公園・遊び場	(11)	➤ 北総花の丘公園を整備し、利用しやすくしてほしい ➤ 草深の森のような自然公園を市内にもっと多く作る ➤ 里山に動植物園を作るなど、自然に触れられる場所をもっと身近にしてみたい(里山環境を分かりやすく子どもたちに伝えられる場所) ➤ 木刈地区にドッグランを作してほしい ➤ こどもが楽しんで遊べるアスレチックのような森を作してほしい ➤ こどもたちがせせらぎ公園で水遊びできる環境であってほしい
まちの美化	(10)	➤ 千葉 NT 駅周辺のポイ捨てが目立つようになった ゴミ箱を増やす、清掃を増やすなどの対策を行ってほしい ➤ 中央駅には喫煙場所ができて定着してきている 牧の原駅前でも、中央駅並みの取り組みを望みます ➤ 公共施設(公園トイレ他)の清掃は市の検査チェックが甘い ➤ ゴミゼロ運動は今後も継続してほしい ➤ UR 都市機構遊休地の草刈などを行政指導してもらいたい ➤ ペットの糞の放置に対する罰則強化及び広宣活動の実施 ➤ 自然観察会で同時に(ゴミ袋を配布して)ゴミ拾いをしてみては
地球温暖化	(6)	➤ アイドリングストップの意識が低い。所々に看板を設置するなど、協力を呼びかけることが大切 ➤ 蛍光灯電球や LED 電球の購入に 50%の補助金を出しては ➤ 公共施設の照明はすべて LED 化する ➤ 緑化による CO₂ 吸収効果や里山保全による効果を指標に明示する ➤ 公共施設に太陽光発電や風力発電を設置する ➤ 太陽光発電を各家庭にも設置しやすく補助金を出してほしい
その他 (24)	水環境 (4)	➤ NT 周辺の台地部で、雨水浸透枡の設置を奨励する ➤ 戸神台貯水池のニュータウン大橋西詰の排水溝から、時々褐色や黒色、発泡性の白色の排水が見られるが、何が原因か ➤ たまに、水道の水の臭いが気になることがある ➤ 花の丘公園の池の水の色が真っ赤だったのが気になった
	子育て環境 (2)	➤ 人と自然が共存できる、子育てしやすい街づくり、環境作りに期待 ➤ ゴミは責任を持って個人負担し、ムダをなくした分のお金は子育てしやすい環境作りに使ってほしい
	悪臭 (2)	➤ 畑の堆肥の異臭 ➤ ニュータウン大橋付近が臭う(池？鳥のふん？)
	その他 (16)	➤ 今の子どもたちが将来印西市に住みたいと思える環境が一番 ➤ 風の強い日は砂埃が大変。何とかしてほしい ➤ お米のとぎ汁は植木に、生ゴミは肥料土に埋めている 身近にできることから始めるといいと思う ➤ 大きな病院がほしい ➤ お年寄りもいるので、喫煙場所にイスや風除けを設置してほしい ➤ 草深公園に砂場を作してほしい ➤ 高校の移転など無駄な経費を使って環境を壊しているのは遺憾 ➤ 成田線沿線「小さな旅」のようなキャッチフレーズで東京から人を呼び込めるようにしたらと思う ➤ 野焼きについての規制を市民に分かりやすく広報してほしい ➤ 自然も多く残り、色々な店が進出して便利さも増してきました これからも住民の生活環境向上のためよろしくお願いします

事業者意識調査の結果

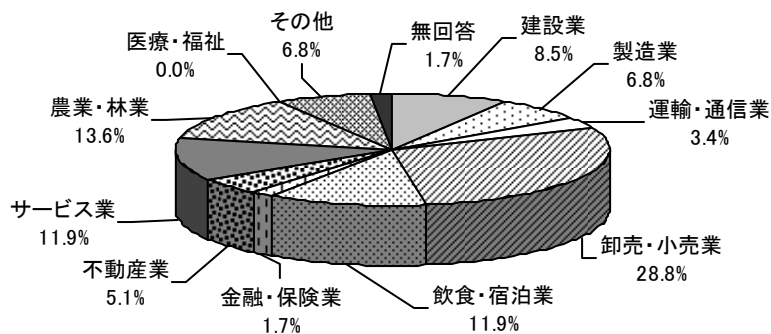
1 事業所の属性

問1-1 貴事業所の業種は何ですか。（1つ選択／11選択肢）

回答数 58

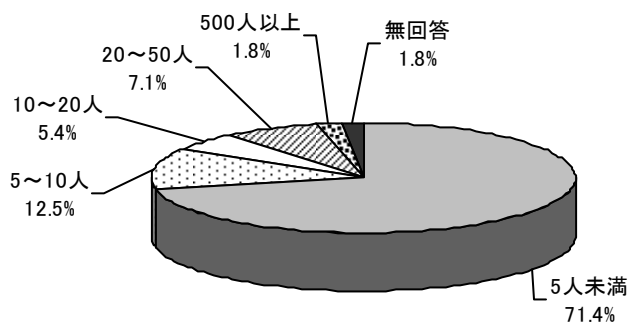
※ 「その他」を選択した事業者(4社)のうち3社は造園業、残り1社は無記入

※ 問2-1で「知らない」を選択し、問2-2を回答していない場合は無回答(3人)とした



問1-2 貴事業所の従業員数は何人ですか。（1つ選択／7選択肢）

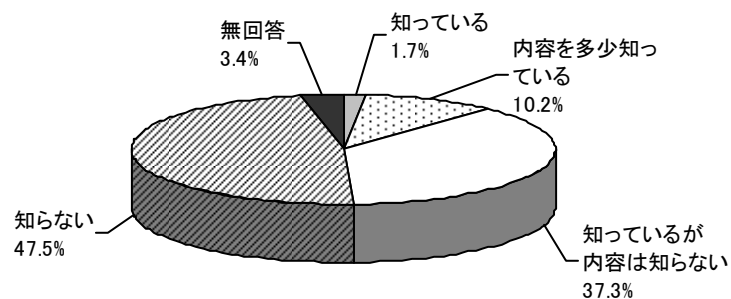
回答者数 58



2 印西市環境基本計画について

問2-1 貴事業所では、「印西市環境基本計画」をご存知ですか。（1つ選択／4選択肢）

回答数 57

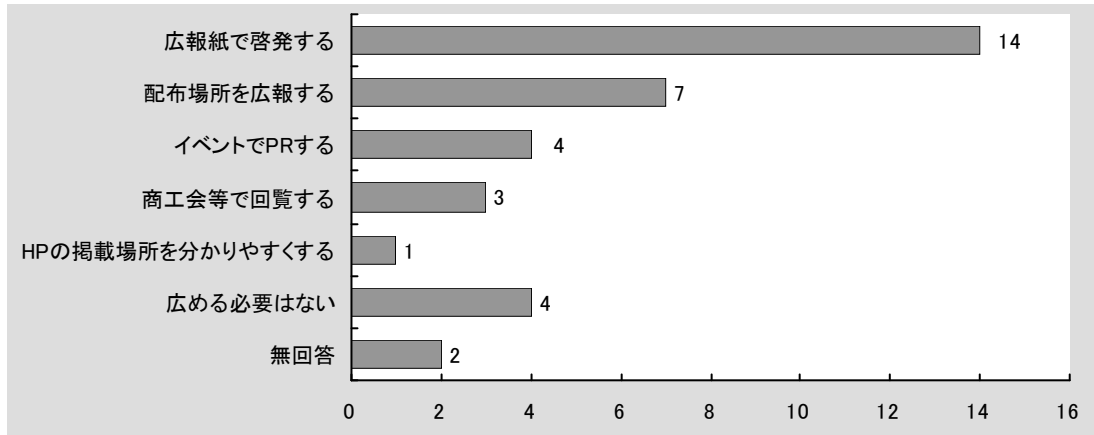


問2-2 問2-1で「知らない」と答えた事業者(28社)に質問します。
計画を広めるためにどのような取組みをしたらよいと思いますか。(1つ選択/5選択肢)

回答数 33 (31人)

※ 問2-1で「知らない」以外を選択した事業者の回答を含む

※ 問2-1で「知らない」を選択し、問2-2を回答していない場合は無回答(2社)とした

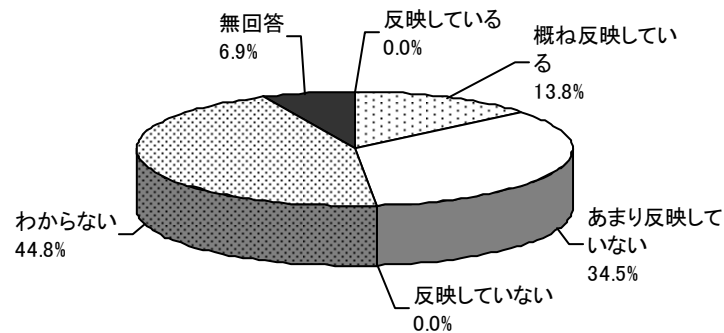


問2-3 印西市環境基本計画をご存知の事業者(29社)に質問します。
計画は市を取り巻く環境問題を適切に反映していると思いますか。(1つ選択/5選択肢)

回答数 27

※ 問2-1で「知らない」を選択した事業者の回答は無効とし、回答数に含まない

※ 問2-1で「知らない」以外を選択し、問2-3を回答していない場合は無回答(2社)とした



環境基本計画の認知状況(問 2-1)は、「知っている」「計画の内容を多少知っている」「計画は知っているが、内容はあまり知らない」を合わせると 49.2%と、市民意識調査の結果(38.1%)を 10 ポイント以上上回りました。

計画の周知方法(問 2-2)については、市民調査と同様、広報紙による方法が支持されました。

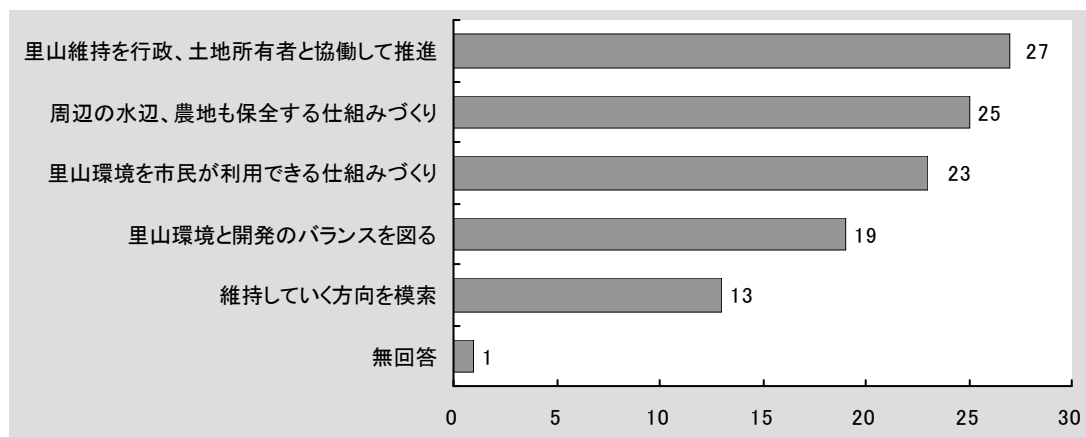
改訂版環境基本計画における環境問題の反映状況(問 2-3)については、「反映している」と「反映していない」がともに 0%で、「あまり反映していない」(34.5%)が「概ね反映している」(13.8%)を 2 倍以上上回りました。

しかし、「わからない」(44.8%)と「無回答」(6.9%)の合計が半数以上を占めており、環境情報の提供が十分でない可能性があります。

3 重点プロジェクト(重点的に実施する取組み)について

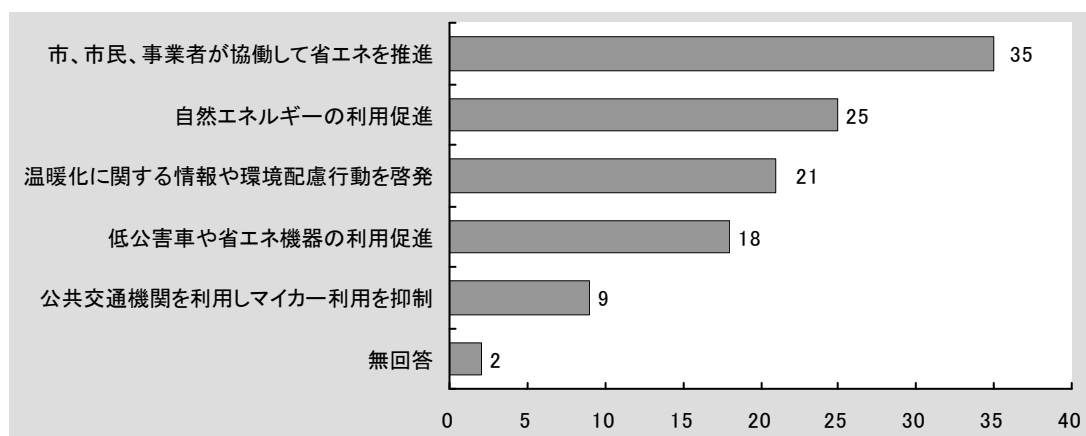
問3-1 市内に残る里山の保全と活用を進めていくために、貴事業所ではどのようにしたらよいと思いますか。(2つまで選択／5選択肢)

回答数 107 (58社)



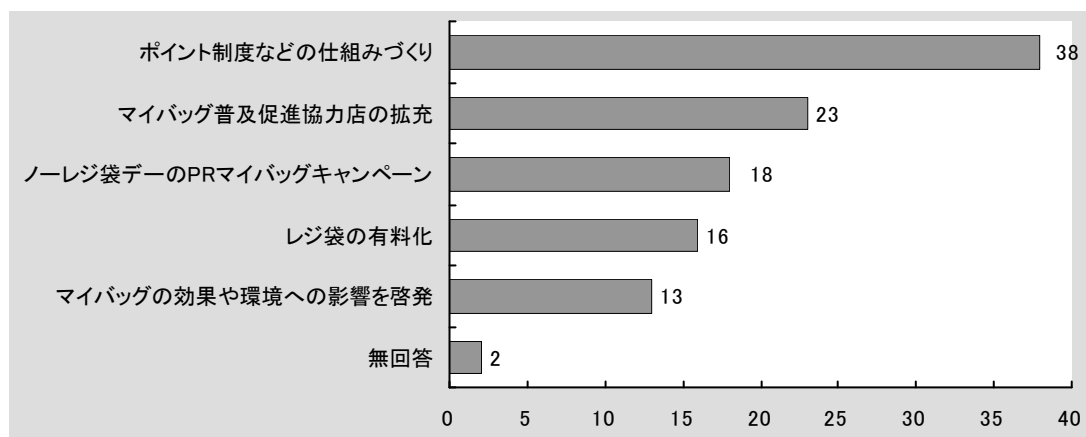
問3-2 地球温暖化を防止するために、貴事業所ではどのような取組みを進めていくことがよいと思いますか。(2つまで選択／5選択肢)

回答数 108 (57社)



問3-3 マイバッグの利用を促進するために、貴事業所ではどのようにしたらよいと思いますか。(2つまで選択／5選択肢)

回答数 108 (57社)



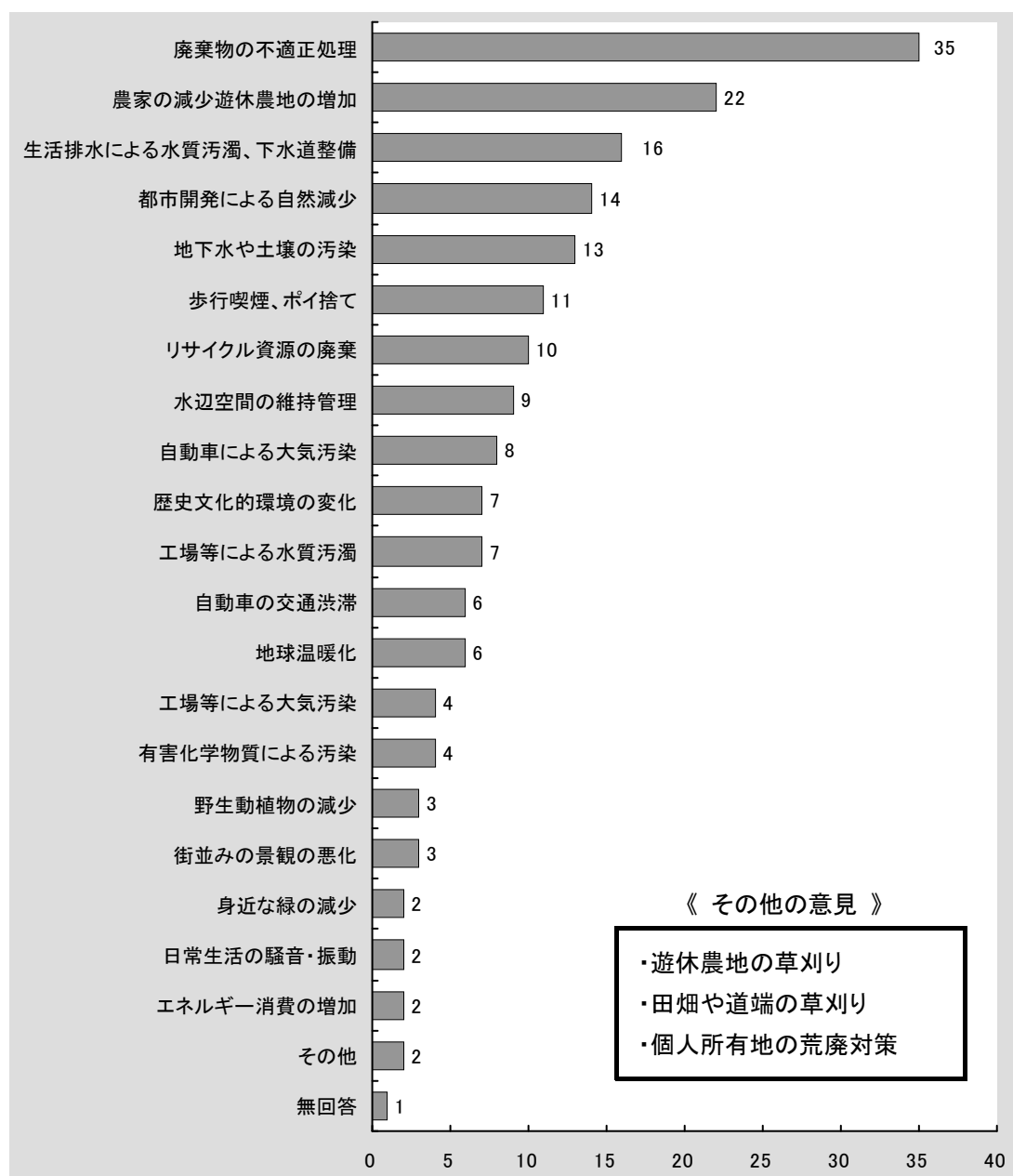
温暖化対策では「市・市民・事業者の三者が一体となって省資源・省エネルギーを進める」が支持され、マイバッグの利用促進で「ポイント制度などの市民・事業者双方にメリットのある仕組みをつくる」が支持されるなど、市民と事業者の意識に大きな隔たりはないことが分かりました。

これに対して、里山保全対策では「里山の維持活動を行政と土地所有者が協働して進める」が最も多く選ばれ、「里山環境と開発のバランスを図る」が支持された市民意識調査とは対照的な結果となりました。

4 環境問題に対する認識について

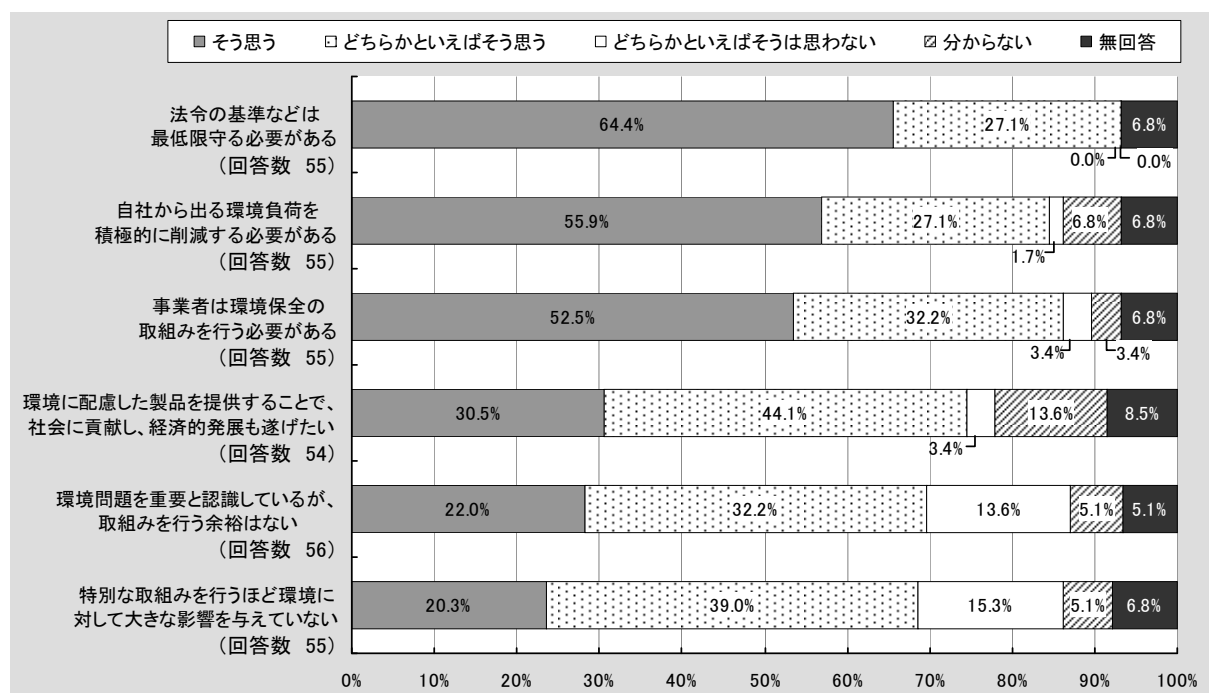
問4-1 貴事業所では、市が早急に取組みを進めるべき環境問題は何だとお考えですか。
(複数選択／21選択肢)

回答数 186 (48社)



市が早急に取り組むべき環境問題としては、「不法投棄などの廃棄物の不適正な処理」が最も多く選ばれ、市民意識調査と類似した部分が多く見られた一方、市民意識調査で 2～3 番目に支持された「都市開発による身近な自然の減少」や「自動車の交通渋滞」の回答数は少なく、「農家の減少と遊休農地の増加」が支持されました。本アンケートを送付している事業者には農業従事者が約 14%含まれており、回答者が普段接している環境の違いが結果に現れたものと考えられます。

問4-2 貴事業所では、環境問題についてどう考えますか。（各1つ選択／5選択肢）



事業者が環境問題に対して積極的に取り組もうとする姿勢が良く現れた結果となりました。しかし、その一方で昨今の厳しい経済状況を反映してか、「環境問題が重要と認識しているが、取組を行う余裕はない」という回答が 2 年連続で前年を上回っている状況も明らかになりました。（「そう思う」17%→19%→22%、「どちらかといえばそう思う」13%→30%→32%）

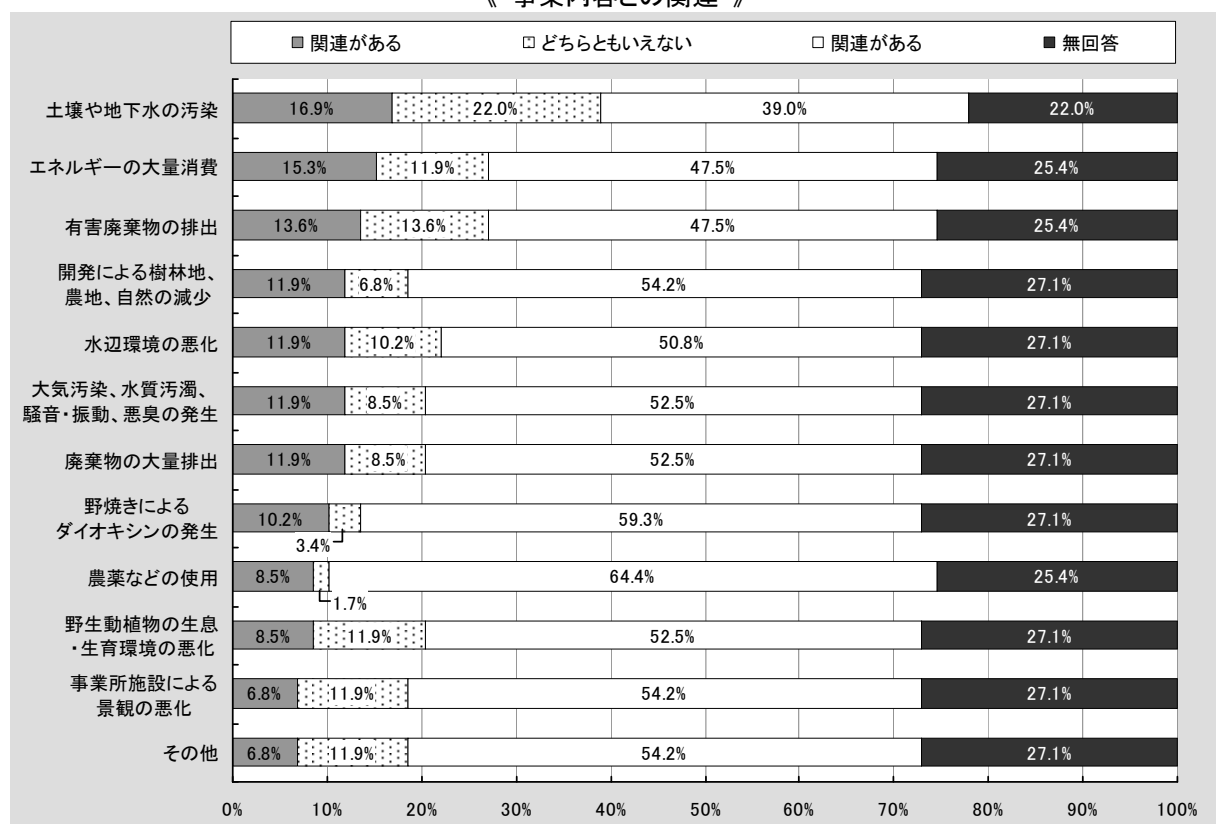
環境問題は、市・市民・事業者が一体的に取り組むべき課題です。どこか一部に負担が集中することのないように、配慮していく必要があります。

事業に関連のある環境問題に対する取組み状況（次頁問 4-3）については、「農薬などの使用」に対する取組みが非常に少ないが、農業従事者にとって簡単に対応できることではないと言えます。

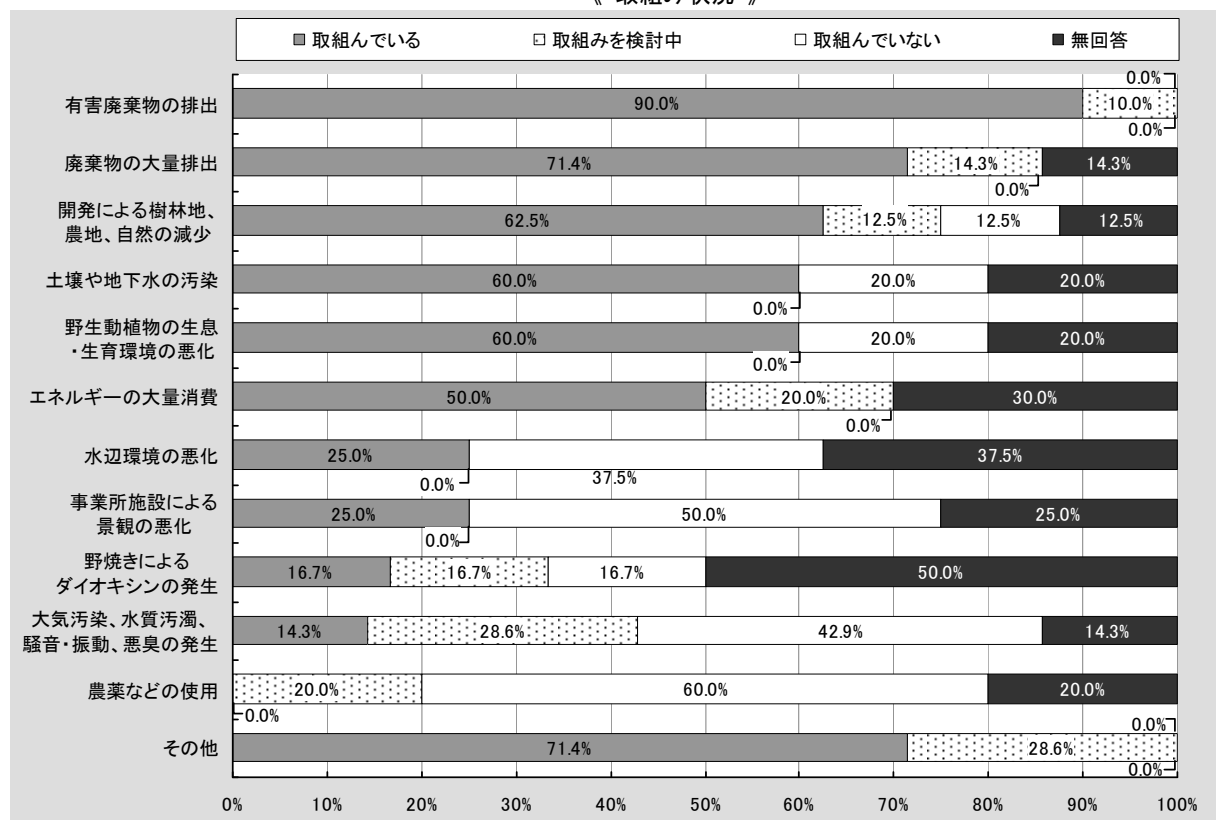
同様に取組み状況が少ない、「大気汚染、水質汚濁、騒音・振動、悪臭の発生」や「野焼きによるダイオキシンの発生」に対しては、普及・啓発を推進し、抑制を図っていく必要があります。

問4-3 貴事業所の事業内容は以下の環境問題と関連がありますか。（1つ選択／3選択肢）
また、「関連がある」問題についての取組み状況をお答え下さい。（1つ選択／3選択肢）

《 事業内容との関連 》

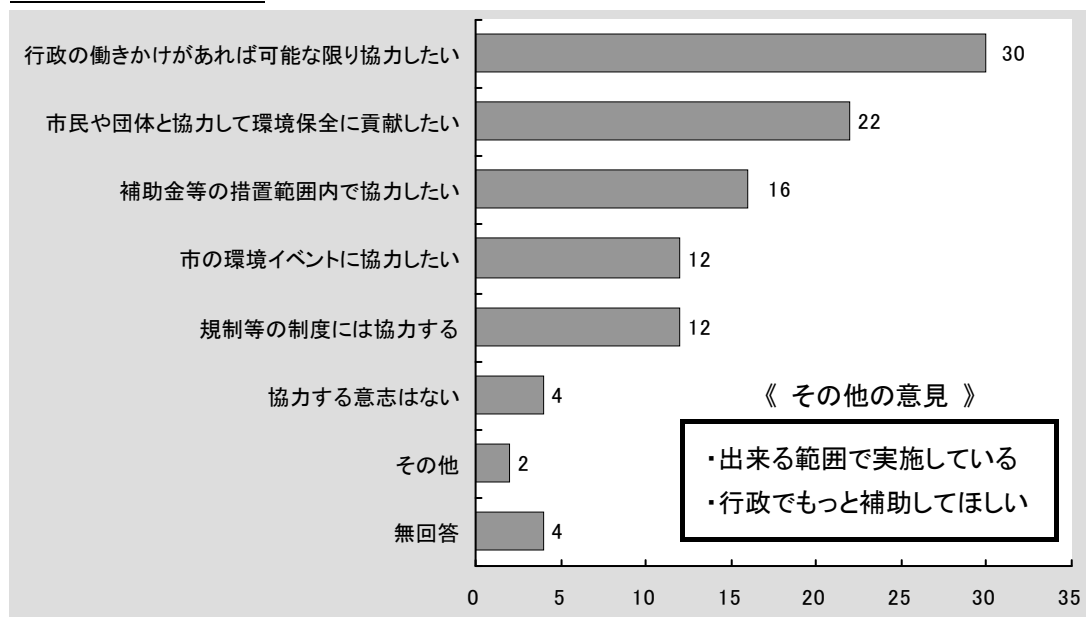


《 取組み状況 》



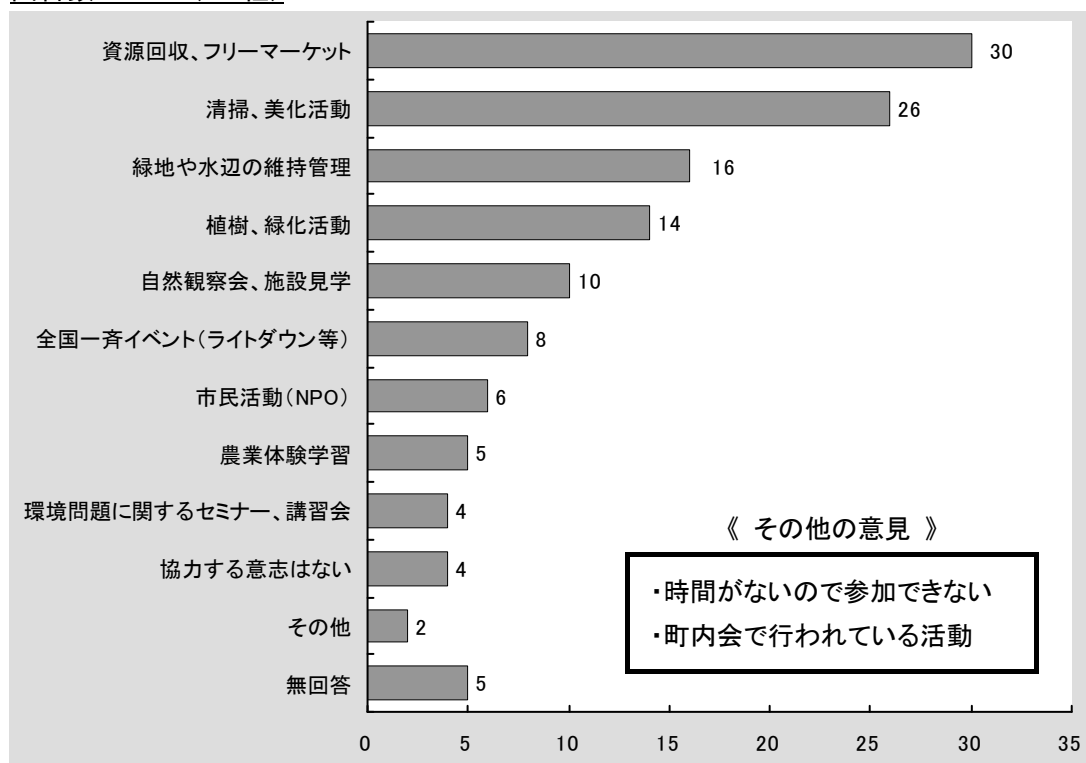
問4-4 貴事業所では、事業者が行う地域に対する環境活動についてどう考えますか。
(2つまで選択／7選択肢)

回答数 98 (55社)



問4-5 貴事業所で地域の環境活動に協力する場合、どのようなものに協力したいですか。
(3つまで選択／11選択肢)

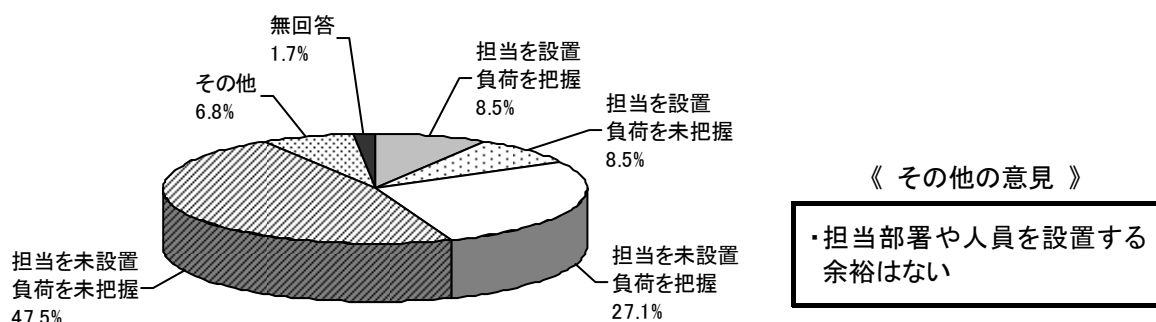
回答数 125 (54社)



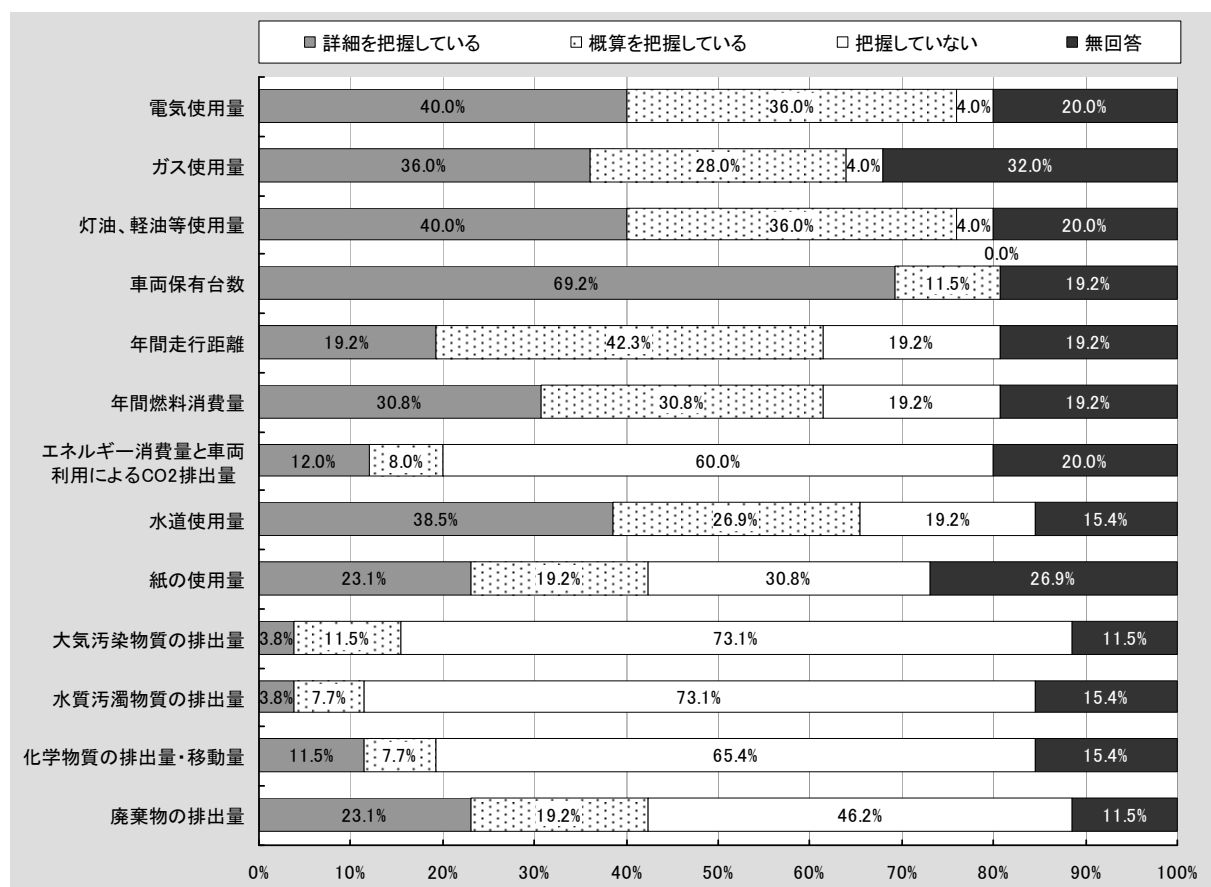
環境活動への参加意欲は高く、特に「資源回収などのリサイクル活動、フリーマーケット」や「清掃活動・美化活動」に協力したいという回答が多い結果となりました。

問4-6 貴事業所では、環境問題等を担当する部署及び担当者を設置し、事業活動における環境への負荷を把握していますか。（1つ選択／5選択肢）

回答数 58



問4-7 問4-6で「環境への負荷を把握している」と答えた事業者（21社）に質問します。
貴事業所における環境負荷の把握状況をご回答ください。（各1つ選択／3選択肢）
また、環境への負荷について、貴事業所独自の取組みや大きな効果のあった取組み、取組みを進める際に直面した課題などがあれば、ご記入ください。（記述式）

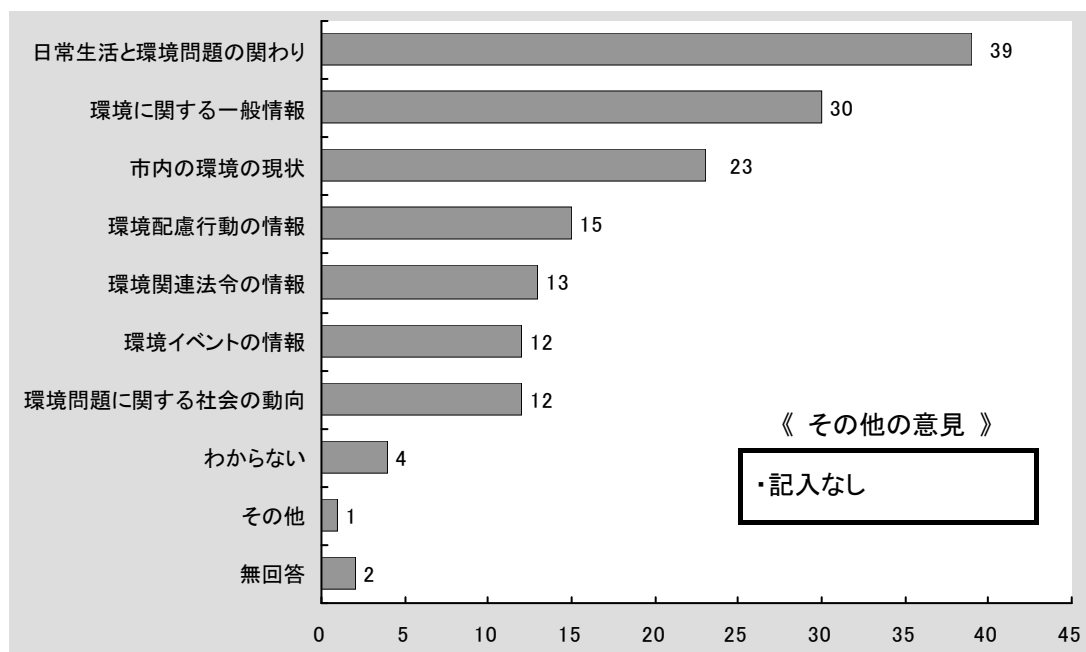


事業に伴う環境負荷の把握状況（問4-6～問4-7）は、担当部署の設置率（昨年14.3%→今年17.0%）、環境負荷の把握率（昨年39.7%→今年35.6%）と、昨年並みという結果でした。

具体的な取組み例としては、「ゴミを出来るだけリサイクル」する、「植木鉢やプランターに再利用水を使う」、「井戸水を利用する」などが挙げられました。

問4-8 貴事業所が、環境についてより関心を深めるためには、どのような情報が必要と考えますか。
(3つまで選択／9選択肢)

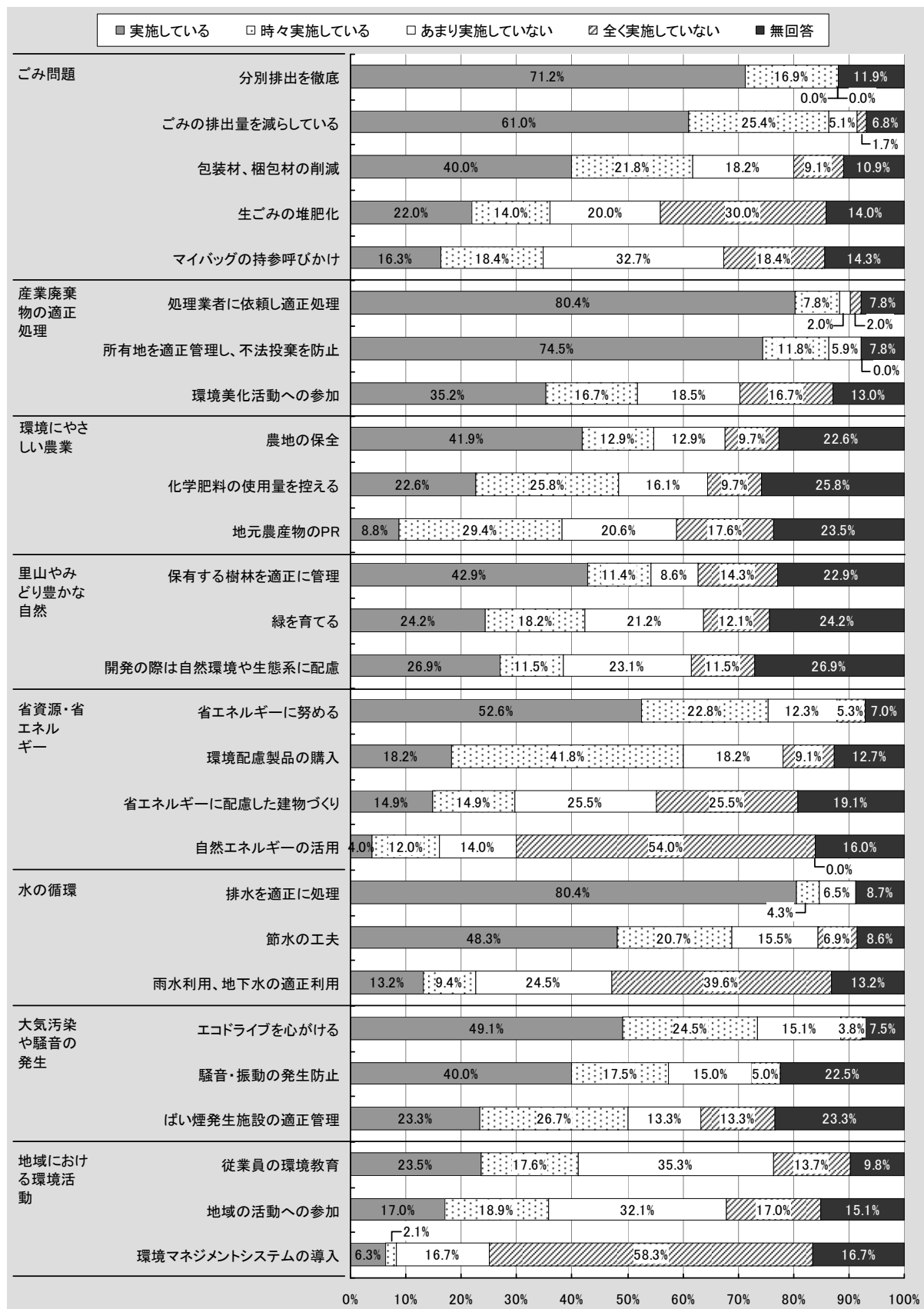
回答数 149 (57社)



環境について関心を深めるために、「日常生活と環境問題の関わりが分かる情報」や「環境に関する一般情報」、「市内の環境の現状」などの情報が求められています。市としては、広報やホームページ、環境白書等を通じてこれらの情報を積極的に発信していく必要があります。

5 貴事業所の環境行動、参加について

問5 貴事業所では以下のような環境行動を実践していますか。（各1つ選択／4選択肢）



「産業廃棄物は処理業者に依頼して適正に処理している」や「所有地を適正に管理し、不法投棄を防止している」、「ごみや資源の分別排出を徹底し、リサイクルに努める」、「ものを大切に、ごみの排出量を減らす」などへの取組み状況が良好で、ごみ問題や廃棄物処理について、積極的な取組みが行われています。

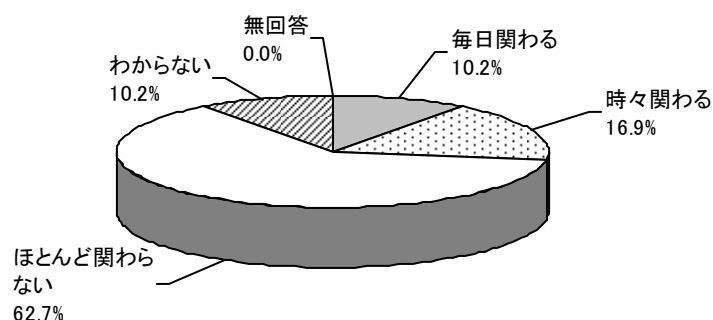
また、「事業所排水の適正処理」についても、既に多くの事業者が取り組んでいました。

一方、地域の環境活動への参加・協力の取組みは依然として少なく、各種広報による情報提供などを通じて環境活動への積極的な参加を促していく必要があります。

6 里山環境の保全について

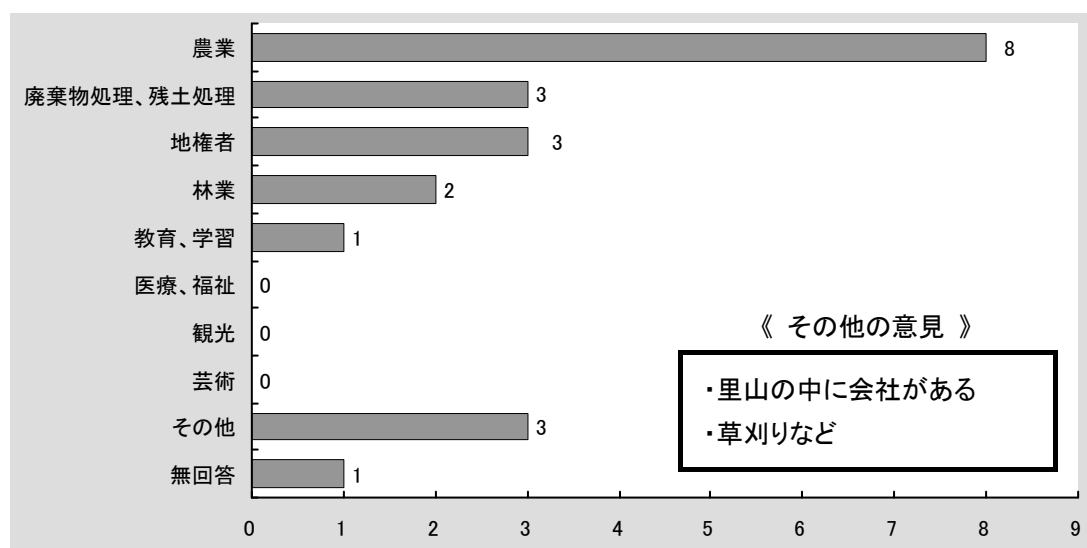
問6-1 貴事業所では、どの程度里山と関わっていますか。（1つ選択／4選択肢）

回答数 59



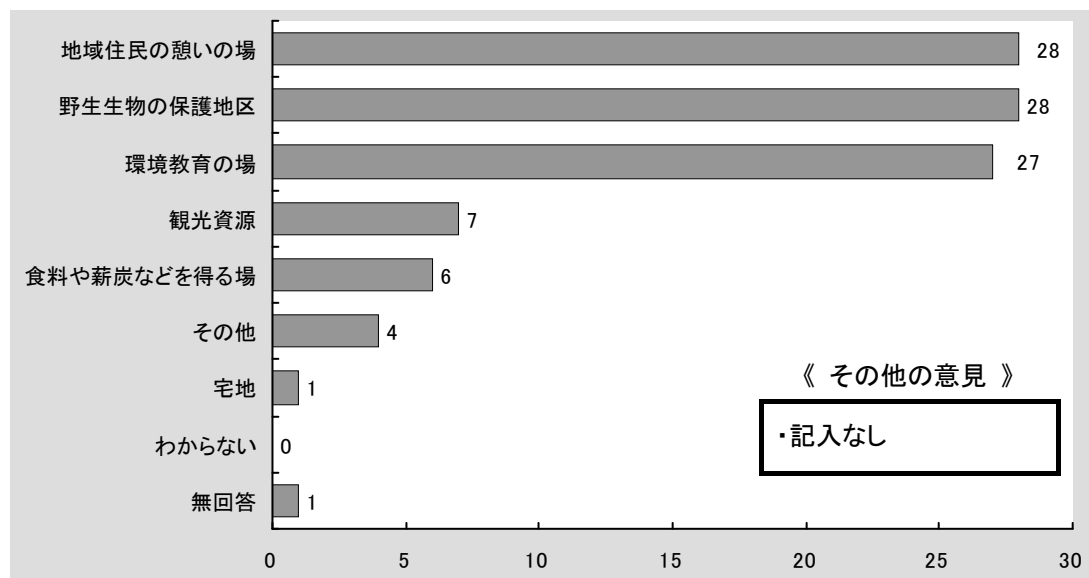
問6-2 問6-1で「毎日関わる」もしくは「時々関わる」と答えた事業所（16社）に質問します。貴事業所では、どのように里山と関わっていますか。（複数選択／9選択肢）

回答数 20（15社）



問6-3 貴事業所では、今後印西市の里山をどのような場として利用していくのが良いと思いますか。
(2つまで選択／8選択肢)

回答数 101 (58社)



事業による里山との関わり状況について（問 6-1）は、約 27%の事業者が毎日もしくは時々関わると答えました。なお、業種別の内訳は、「農業・林業」（5社）が最も多く、次いで「不動産業」（3社）、「建設業」「卸売り・小売業」「造園業」（各 2 社）、「運輸通信業」「サービス業」（各 1 社）でした。

里山との関わり方（問 6-2）は、「農業」が最も多く、次いで「廃棄物処理・残土処理」、「地権者（里山に土地を保有）」などが多く選ばれました。一方、現状では「教育・学習」や「観光」、「芸術」などへの利用が非常に少なく、今後はこれらを含む多様な関わり方を模索していく必要があります。

今後の里山の利用方法（問 6-3）としては、「地域住民の憩いの場」や「野生生物の保護地区」、「環境教育の場」などが多く支持され、市民意識調査と同様の傾向が認められます。

7 自由意見

問9 印西市の環境に関するご意見、ご要望があればご記入ください。（記述式）

回答数 10社

主な意見
➤ 北総線沿いの商業開発でどれだけ自然をこわしているか ➤ 昔からある駅周辺の商業がさびれてしまい、これは市の責任でもある ➤ 市で大型破碎機を購入し、山林などの清掃に貸し出すようにすると燃やさなくてもいいと思う ➤ 草、竹、篠を制御して勢いを止め、山の木を植林する ➤ 里山を中心に印西自然公園の整備を提案したい ・谷津田と原野を利用して水生植物～落葉樹まで整備 ・総面積 30～50ha ・大型駐車場を整備して県外から観光客が訪れるような公園 ・商業の活性化にも役立つ ➤ 質問が独りよがりである ➤ 地域住民の意思を充分ヒアリングして、地域活性化に繋げて頂きたい ➤ 今後も省エネ、エコロジー、リサイクル、環境保全に努めていきたい ➤ 長引く不況のため客足も激減、おかげさまで省エネ生活ができている ➤ 農道を作ってもらいたい ➤ 観光地や公園でなく、従来の農林業を営みながら自然と調和させる。

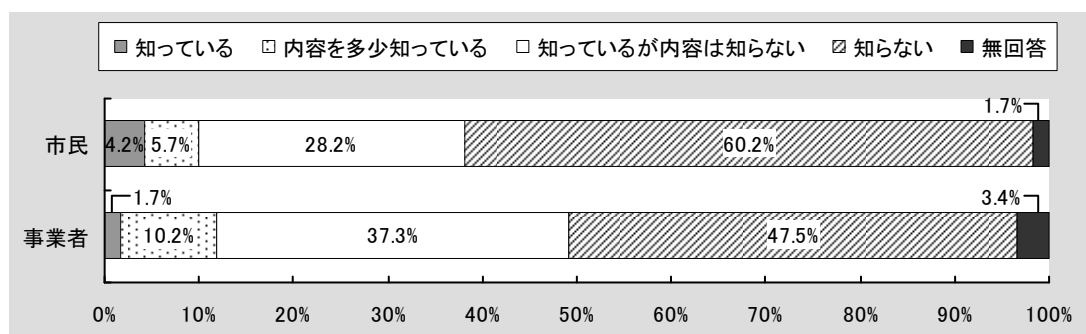
市民及び事業者意識調査結果の比較

■ 比較方法

- ・市民と事業者で同じ聞き方をしている設問について、両者の回答結果を比較しています
- ・回答結果は、各選択肢の選択割合（各選択肢の選択数 ÷ 回答数）を集計しました
ただし、複数選択式の設問については「無回答」を含まない選択割合を示します

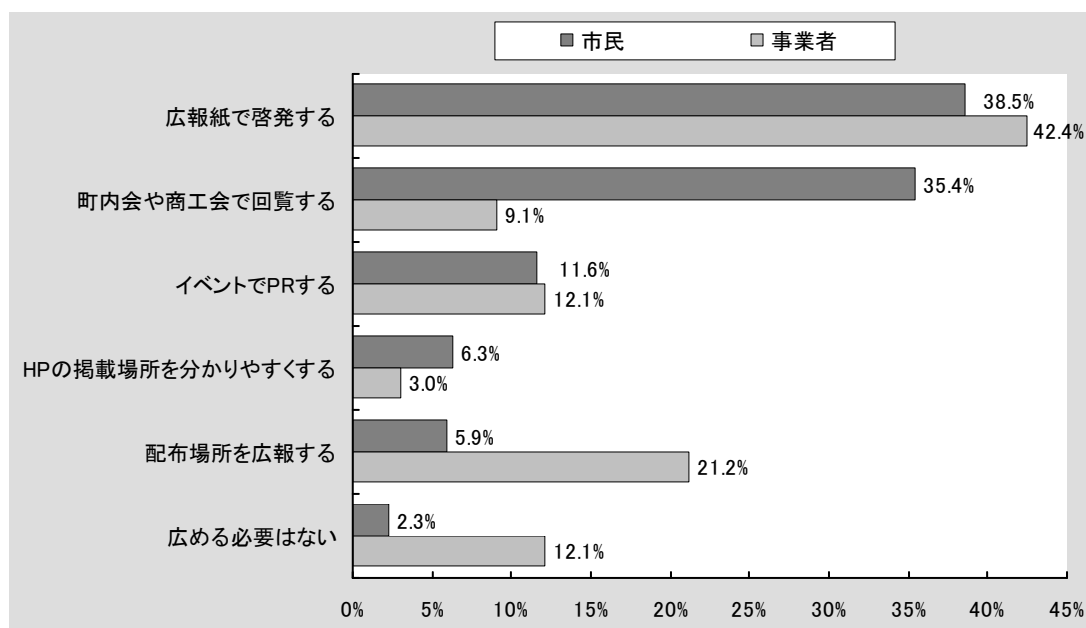
1 環境基本計画の認知状況

「印西市環境基本計画」をご存知ですか。（市民2-1と事業者2-1の比較）



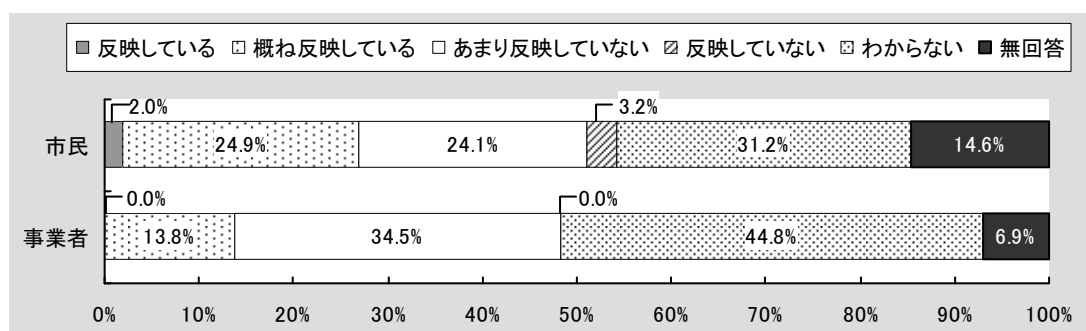
「計画のことを知らない」と答えた方に質問します。

計画を広めるためにどのような取組みをしたらよいと思いますか。（市民2-2と事業者2-2の比較）



「印西市環境基本計画」をご存知の方に質問します。

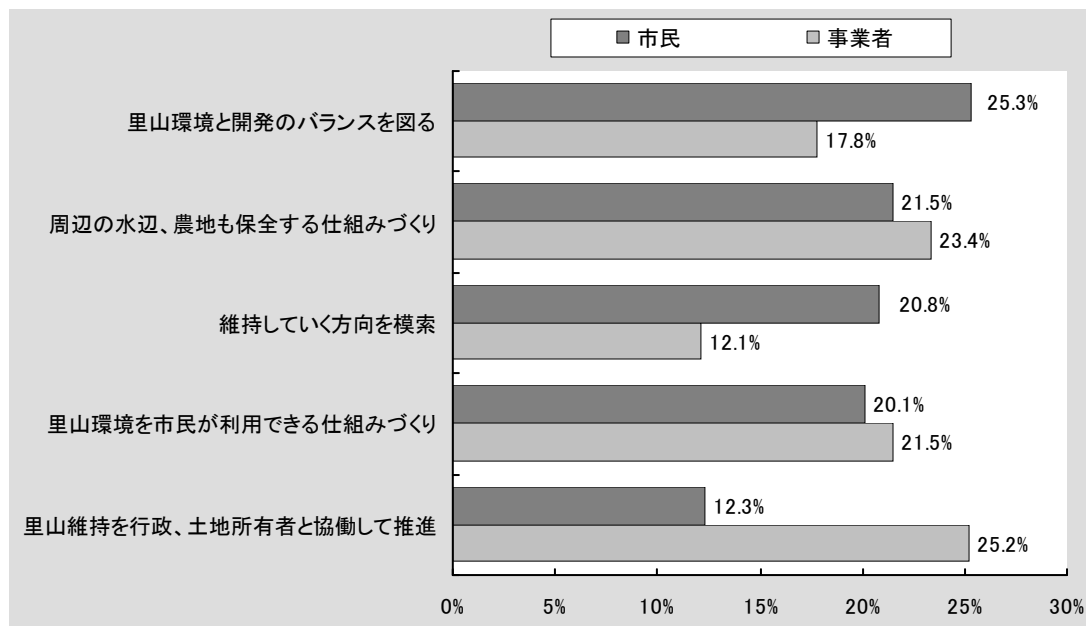
計画は市を取り巻く環境問題を適切に反映していると思いますか。（市民2-3と事業者2-3の比較）



2 重点プロジェクトの推進について

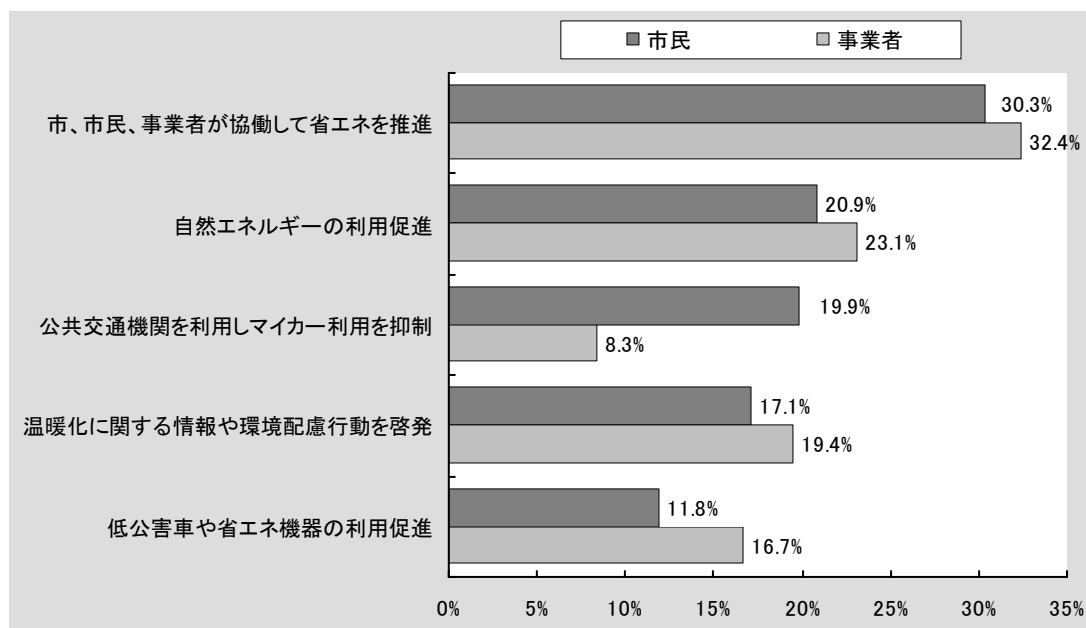
市内に残る里山の保全と活用を進めていくために、どのようにしたらよいと思いますか。

(市民3-1と事業者3-1の比較)

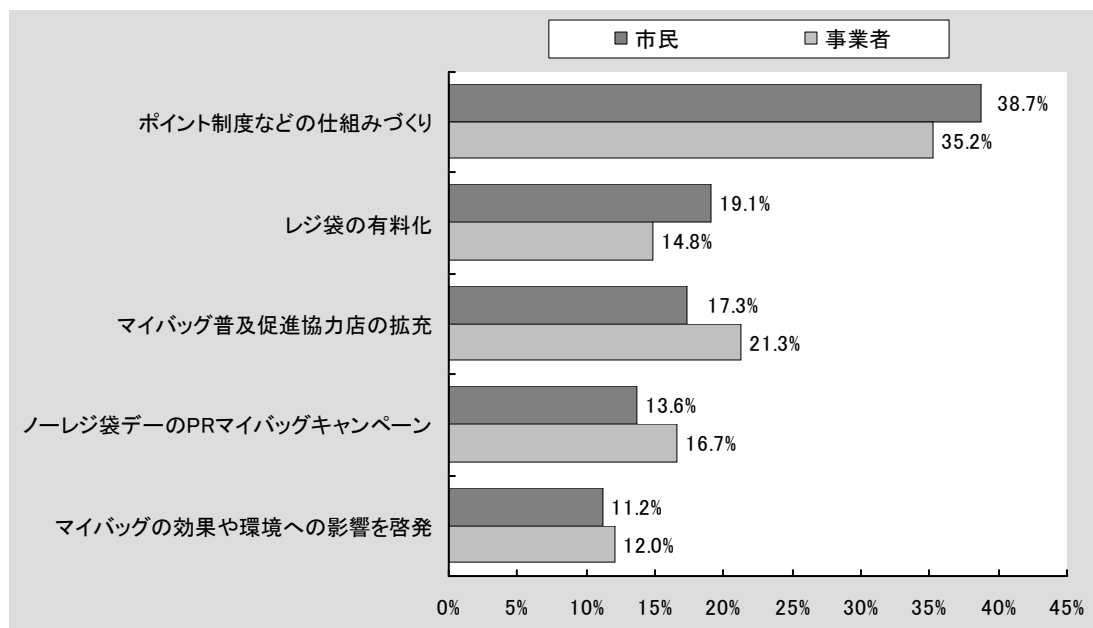


地球温暖化を防止するために、どのような取組みを進めていくことがよいと思いますか。

(市民3-2と事業者3-2の比較)

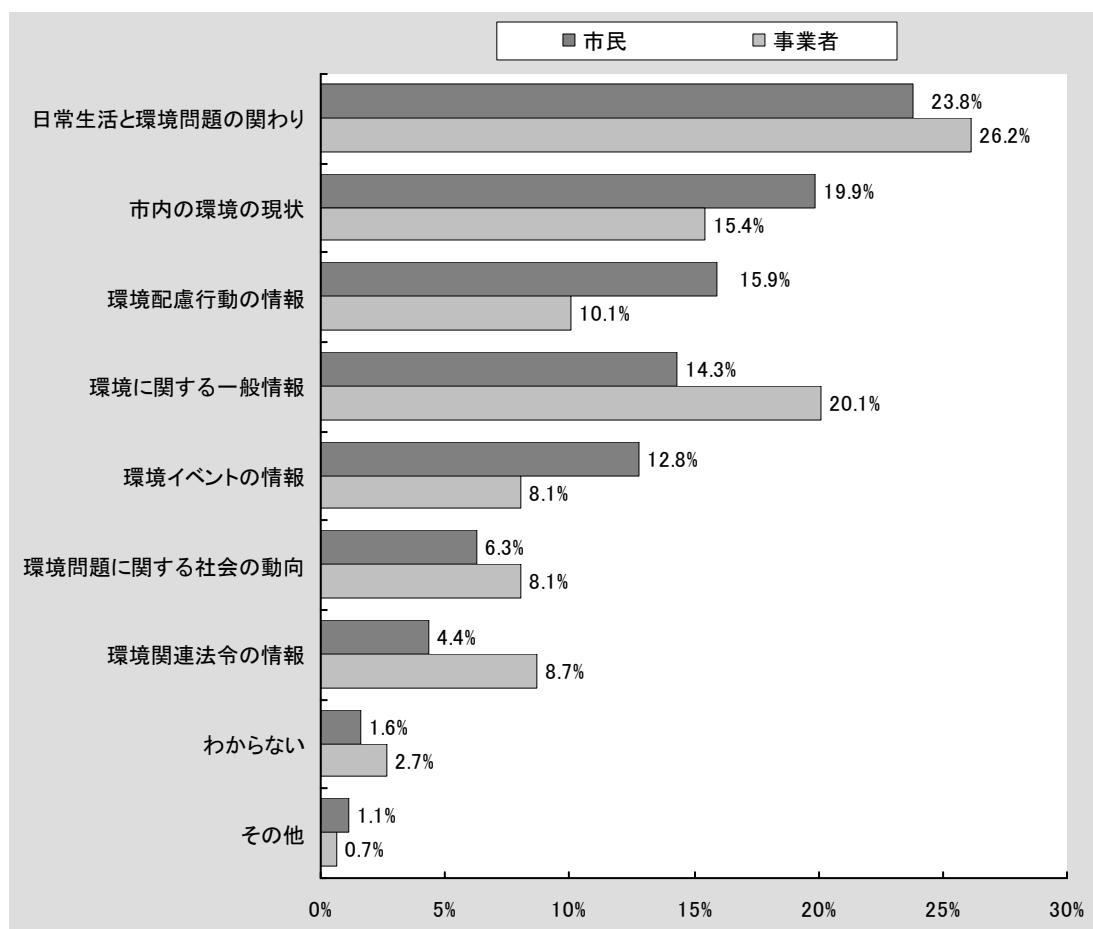


マイバッグの利用を促進するために、どのようにしたらよいと思いますか。
 (市民3-3と事業者3-3の比較)



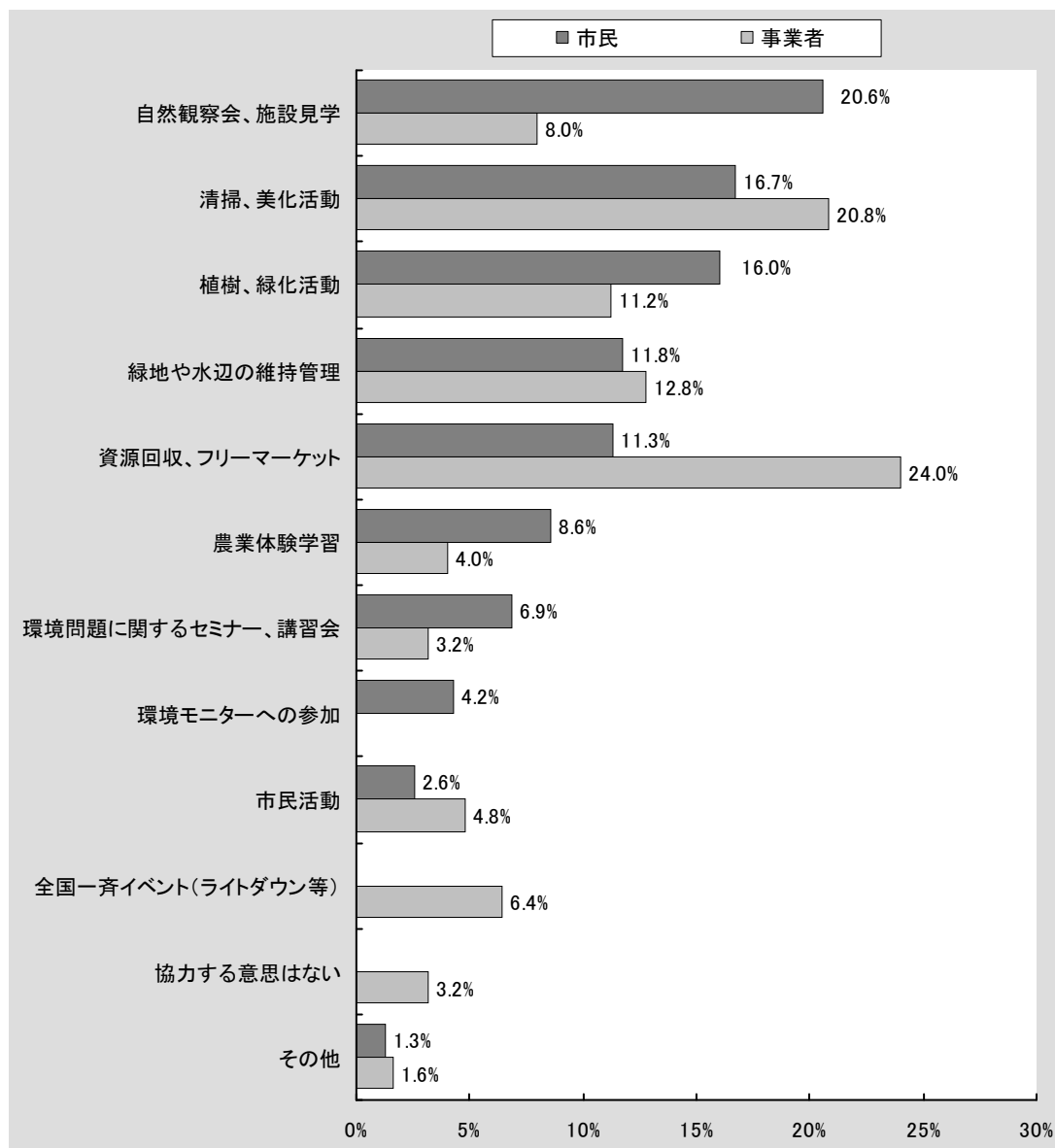
3 印西市の環境について

環境についてもっと関心を深めるためには、どのような情報が必要と考えますか。
 (市民4-2と事業者4-8の比較)



印西市の環境保全に関するイベントや活動などで今後取り組みたいもの、協力したいものはありますか。
(市民4-4と事業者4-5の比較)

※「環境モニターへの参加」は市民のみ、「全国一斉イベント(ライトダウン等)」と「協力する意思はない」は事業者のみの選択肢です



市が早急に取り組を進めるべき環境問題は何ですか。（市民5-1と事業者4-1の比較）

